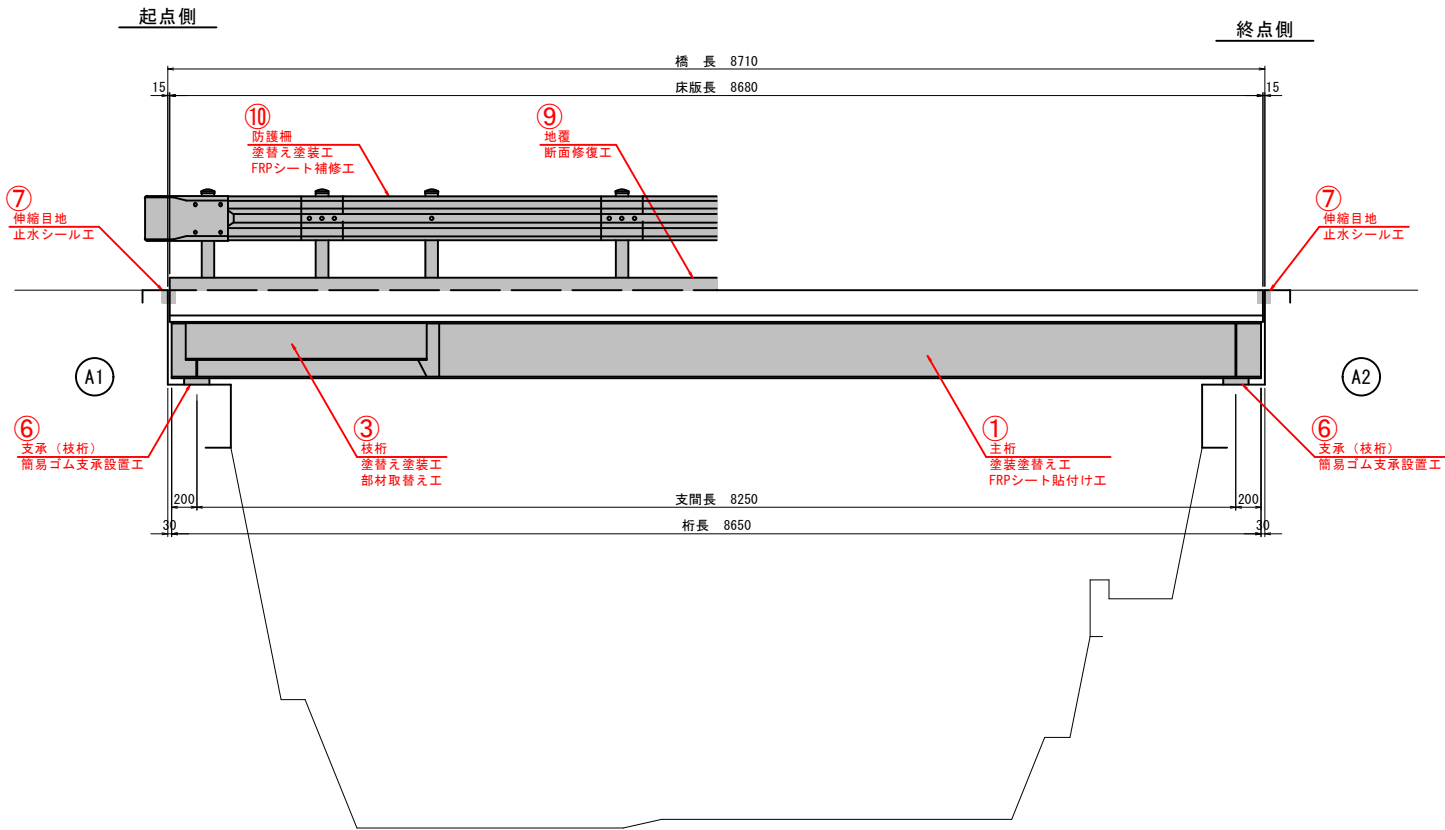
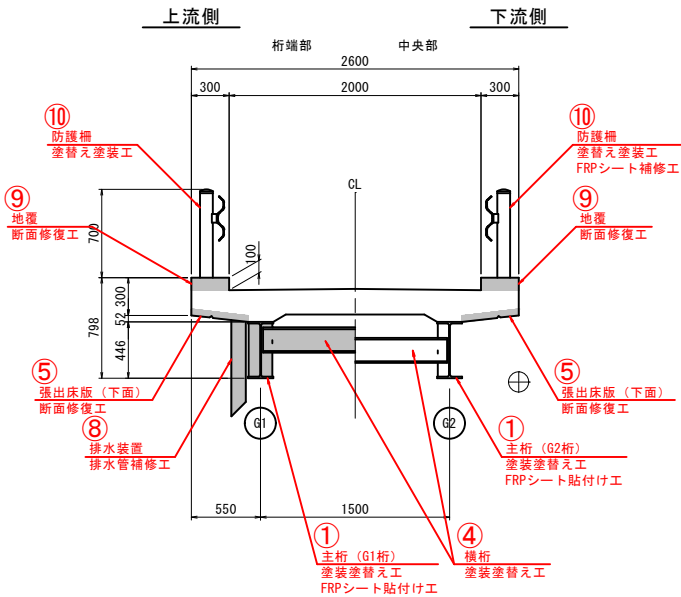


無名橋99 対策一般図

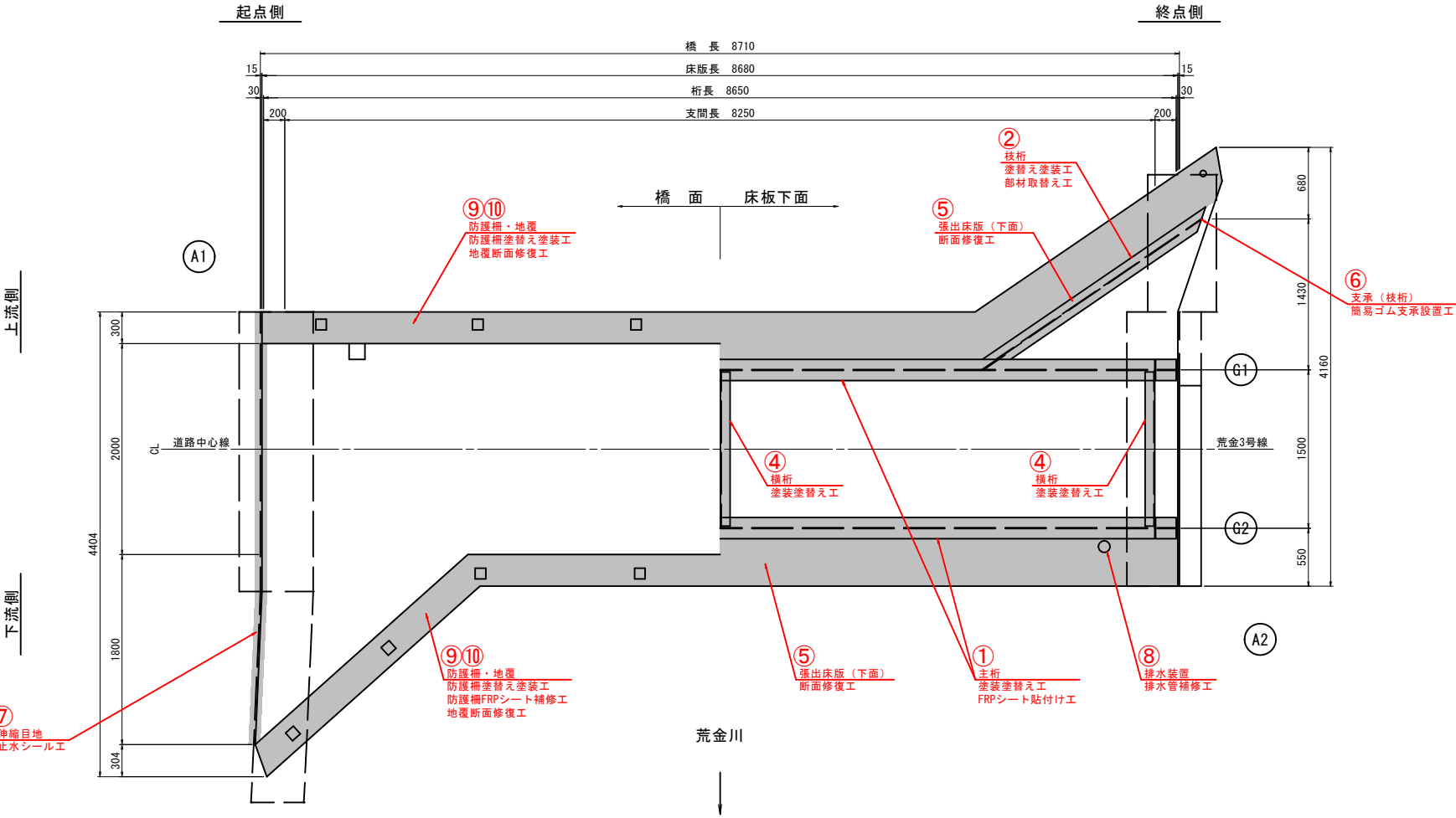
側面図 S=1:30



断面図 S=1:30



平面図 S=1:30



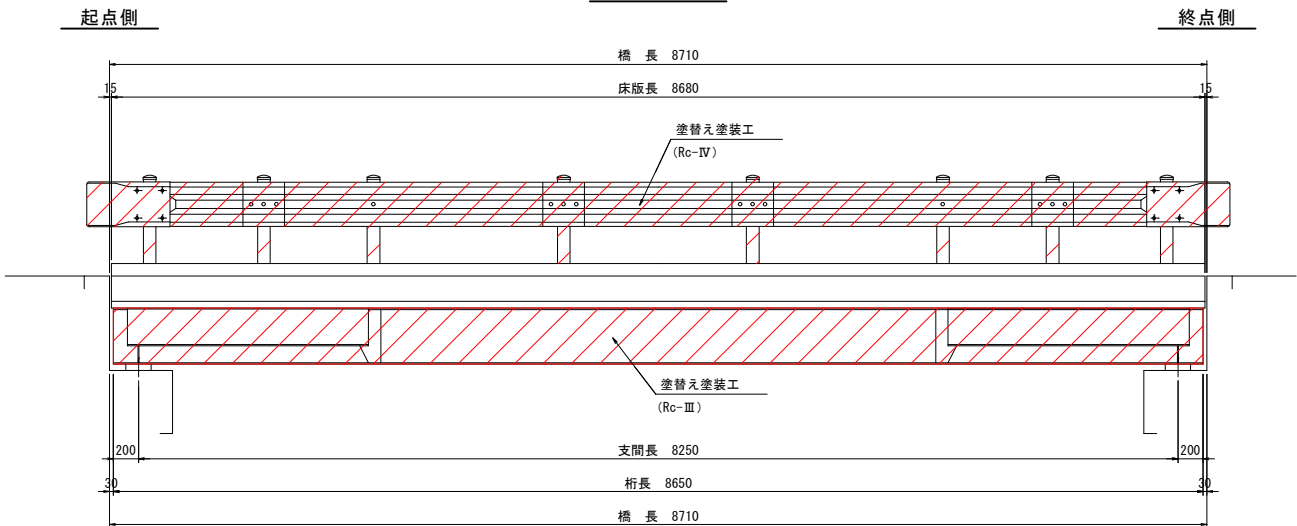
注記)
1. 本図面は、既存資料・現地計測をもとに作成した図面である。
2. 施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認する事。
3. 著しい損傷がみられた場合は、別途発注者と協議すること。

路線名	荒金3号線		
町道荒金3号線（無名橋99）橋梁補修工事			
図 名	無名橋99 対策一般図		
位 置	岩美郡岩美町大字 荒金 地内		
縮 尺	図示	単 位	mm
図 号	全 14 葉中の内 1		
岩美町役場 建設水道課			
令和7年度施工			

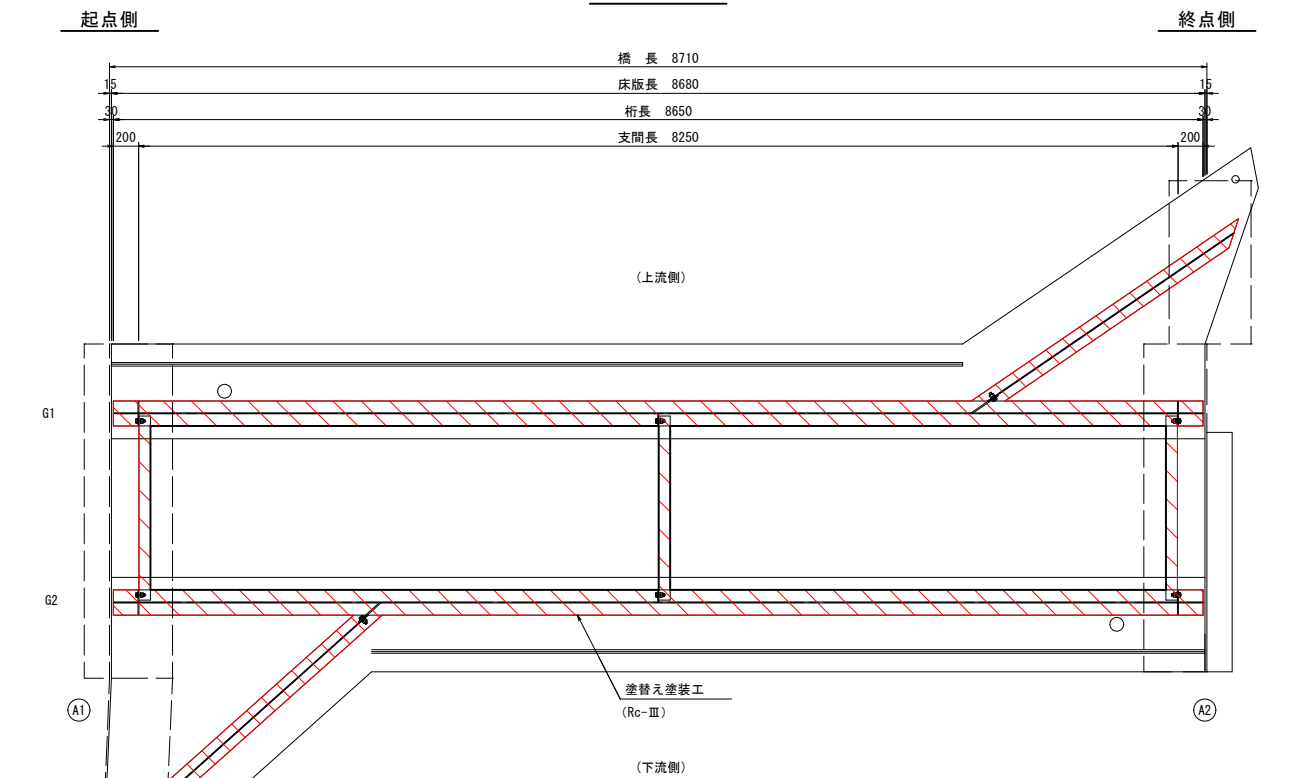
※A3図面は50%縮尺

無名橋99 塗替え塗装工図

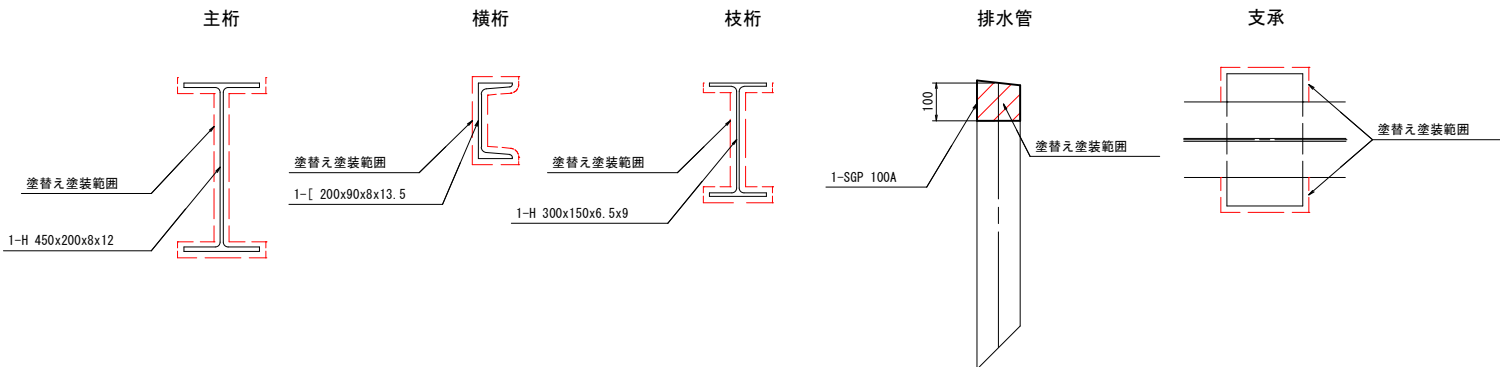
側面図 S=1:30



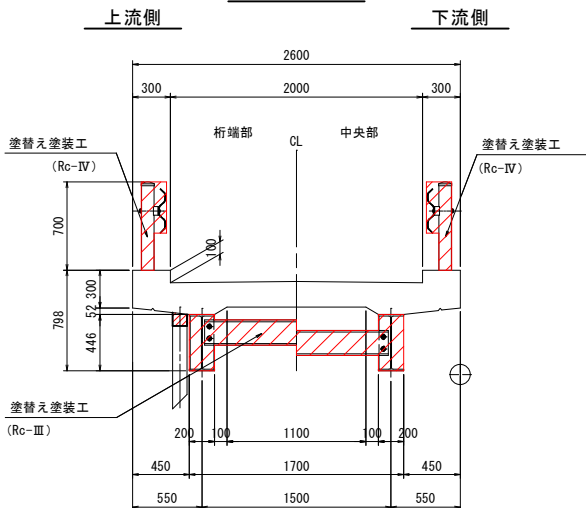
平面図 S=1:30



各部材 塗替え塗装範囲 S=1:10



断面図 S=1:30



塗装詳細図 (Rc-III)

鋼材	塗装系 (はけ、ローラー)
弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 (上塗り)	120g/m ²
弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 (中塗り)	140g/m ²
弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料 (下塗り)	200g/m ²
弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料 (下塗り)	200g/m ²
弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料 (下塗り)	200g/m ²
鋼材面 3種ケレン	
鋼材面 湿式剥離剤	

塗装詳細図 (Rc-IV、中・上塗り)

鋼材	塗装系 (はけ、ローラー)
弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 (上塗り)	120g/m ²
弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 (中塗り)	140g/m ²
鋼材面 4種ケレン	

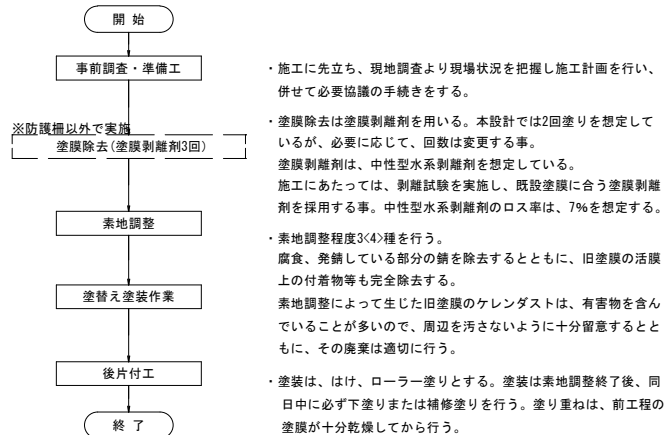
塗装系 (Rc-III)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
下地処理	湿式剥離剤 (中性型水系剥離剤)	70	
素地調整	3種ケレン		4時間以内
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗り	200	1日～10日
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗り	200	1日～10日
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗り	200	1日～10日
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗り	140	2日～10日
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗り	120	

塗装系 (Rc-IV、中・上塗り)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	4種ケレン		4時間以内
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗り	140	1日～10日
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗り	120	

施工手順 (参考)



塗装系 (Rc-III)

部材名	塗装面積 (m ²)	備考
主桁	25.97	
横桁	3.04	
枝桁	4.56	
排水管	0.08	
支承	0.04	
合計	33.69	

塗装系 (Rc-IV、中・上塗り)

部材名	塗装面積 (m ²)	備考
防護欄	14.51	
合計	14.51	

塗膜除去工数量

種別	単位	数量	備考
中性型水系剥離剤塗布、2回塗り	m ²	67.40	
廃材回収・積込み	m ²	67.40	

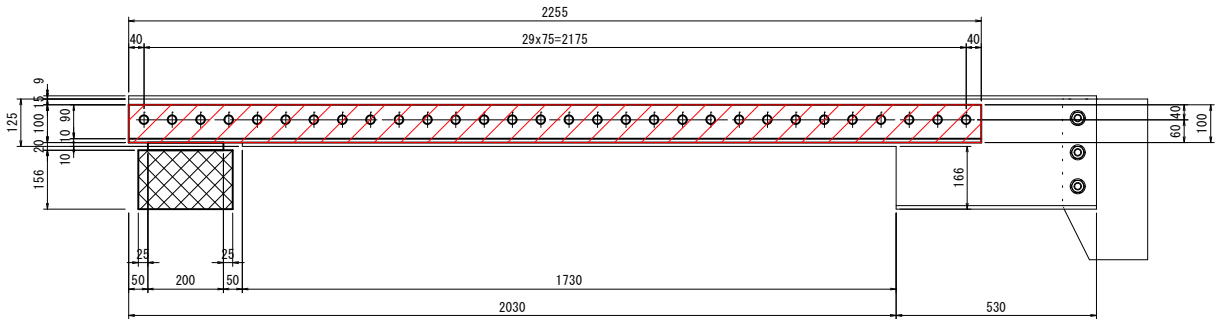
- 注記)
- 本図面は、既存資料・現地計測をもとに作成した図面である。
 - 施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認する事。
 - 著しい損傷がみられた場合は、別途注者と協議すること。

路線名	荒金3号線
町道荒金3号線 (無名橋99) 橋梁補修工事	
図名	無名橋99 塗替え塗装工図
位置	岩美郡岩美町大字 荒金 地内
縮尺	図示 単位 mm
図号	全 14 葉中の内 2
岩美町役場 建設水道課	
令和7年度施工	

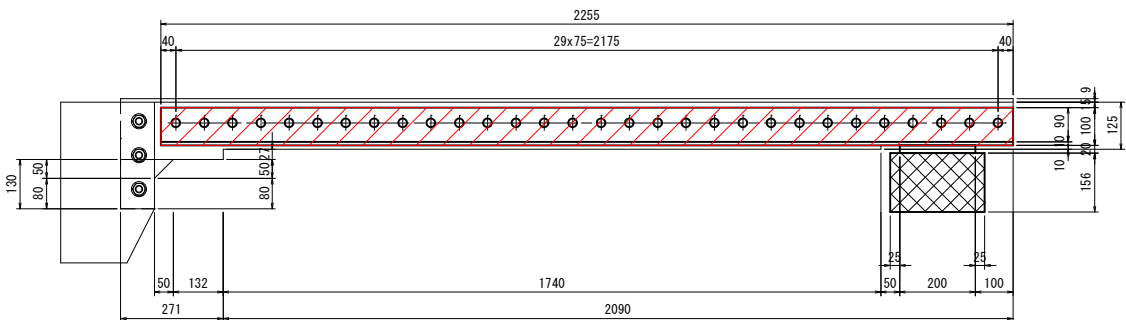
※A3図面は50%縮尺

無名橋99 補強部材塗装工図

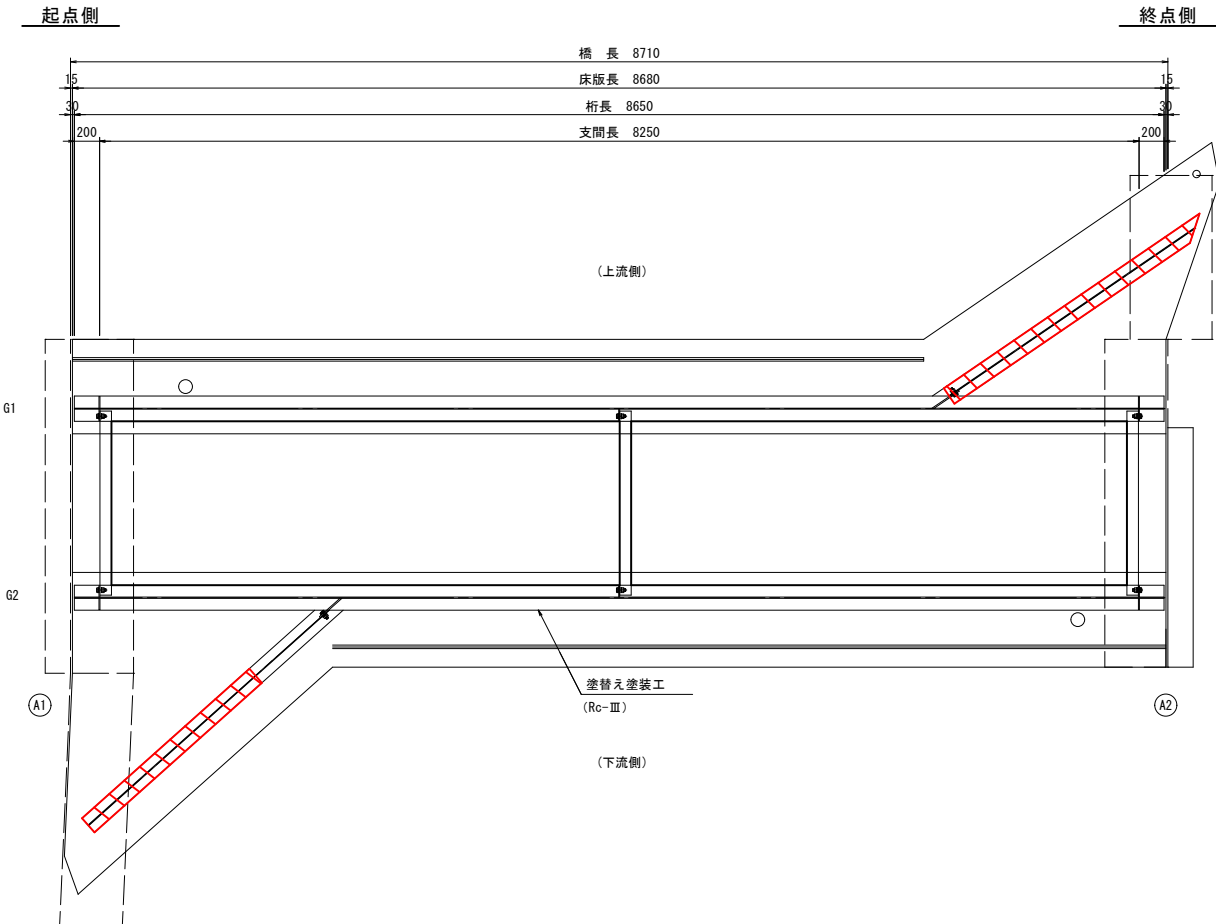
断面図 S=1:10
(下流側枝桁)



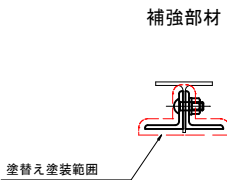
断面図 S=1:10
(上流側枝桁)



平面図 S=1:30



補強部材 塗替え塗装範囲 S=1:10



塗装系 (C-5)

塗装工程	塗料名	塗装方法	使用量 (g/m ²)	目標膜厚 (μm)	塗装間隔
製鋼工場	1次 素地調整	ブラスト処理 ISO Sa 2 1/2			4時間以内
	プライマー	無機ジンクリッチプライマー	スプレー	160	(15)
製作工場	2次 素地調整	ブラスト処理 ISO Sa 2 1/2			4時間以内
	防食下地	無機ジンクリッチペイント	スプレー	600	75
現場	素地調整	動力工具処理 ISO St 3			1年以内
	ミストコート	蜜性エポキシ樹脂塗料下塗	はけ・ローラー	130	4時間以内
	下塗り	超厚膜形エポキシ樹脂塗料	はけ・ローラー	500×2	1日～10日
	中塗り	ふっ素樹脂塗料用中塗	はけ・ローラー	140	1日～10日
	上塗り	ふっ素樹脂塗料上塗	はけ・ローラー	120	1日～10日

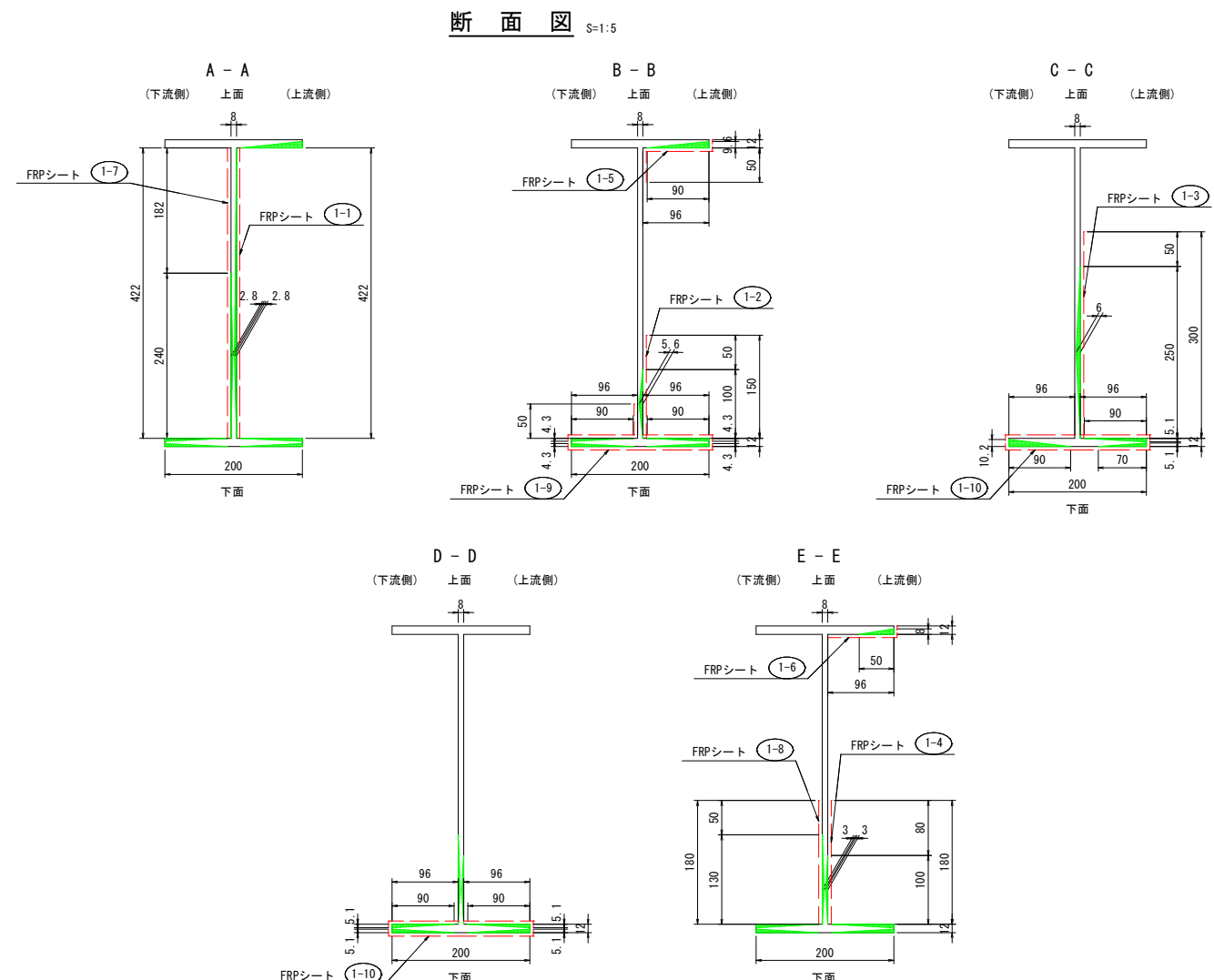
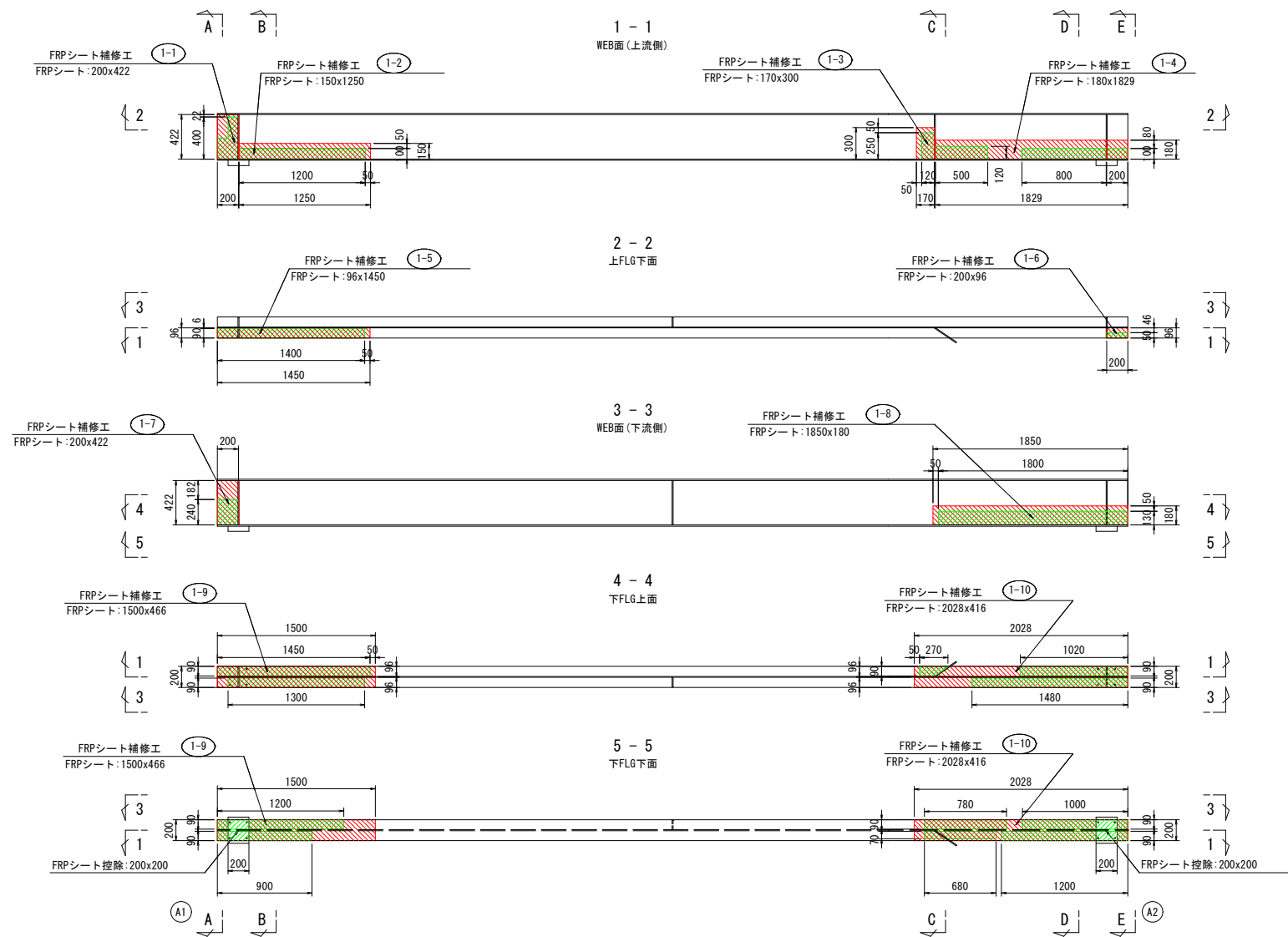
注) 1: プライマーの膜厚は総合膜厚に加えない。
注) 2: 製鋼工場におけるプライマーは膜厚にて管理する。
注) 3: 母材と添接板の接触面は、製作工場の無機ジンクリッチペイントまで塗付する。
注) 4: 超厚膜形エポキシ樹脂塗料を適用することで防食性の向上と工程短縮を図ることが出来るが、一般面と比べて仕上がりがり外観は劣る。
注) 5: 防せい処理ボルトの場合は、添接板も含め高力ボルト頭部にミストコートから塗装する。
注) 6: 防せい処理ボルトを使用しない場合は、高力ボルト頭部に素地調整後、有機ジンクリッチペイント 240g/m²×2回 (はけ塗り・塗装間隔は1日～10日) を塗装した後、添接板も含め、ミストコートから塗装する。

注記)
1. 本図面は、既存資料・現地計測をもとに作成した図面である。
2. 施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認する事。
3. 著しい損傷がみられた場合は、別途発注者と協議すること。

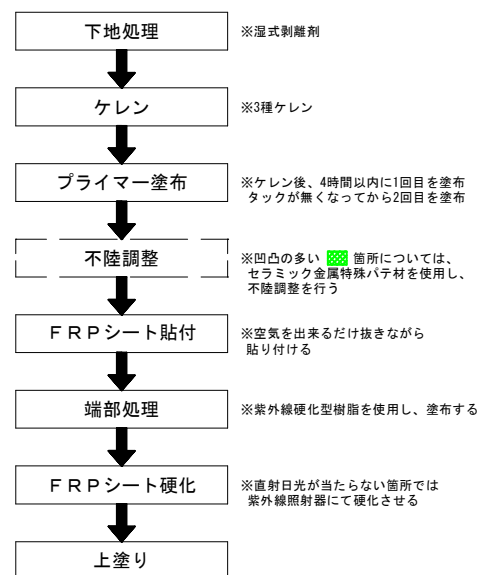
路線名	荒金3号線		
町道荒金3号線（無名橋99）橋梁補修工事			
図 名	無名橋99 補強部材塗装工図		
位 置	岩美郡岩美町大字 荒金 地内		
縮 尺	図示	単 位	mm
図 号	全 14 葉中の内 3		
岩美町役場 建設水道課			
令和7年度施工			

※A3図面は50%縮尺

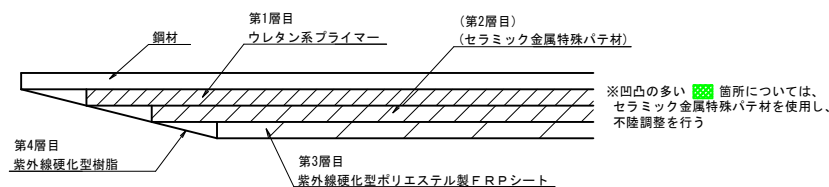
無名橋99 FRPシート補修工図(その1)
主桁G1



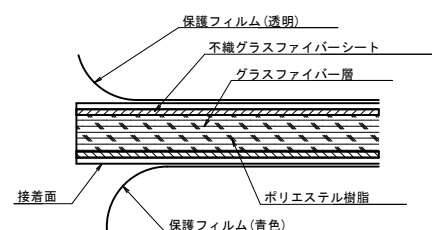
FRPシートエフロー図



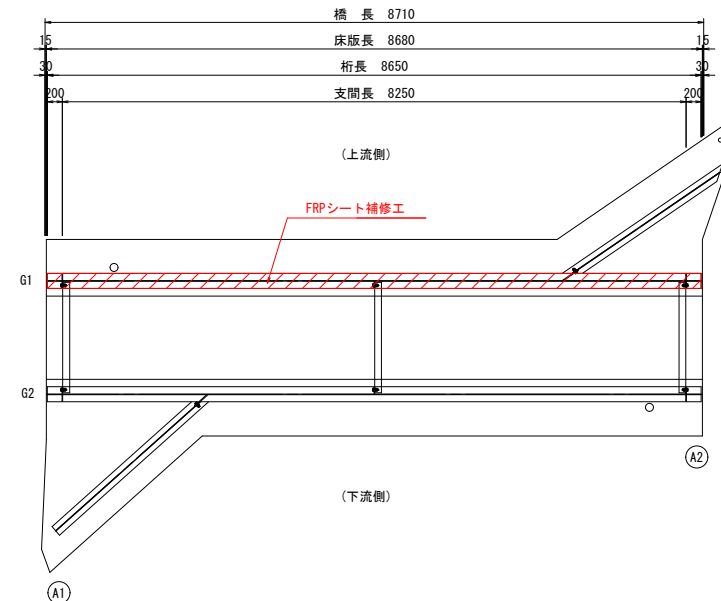
桁端部詳細図



FRPシート詳細図



配置図



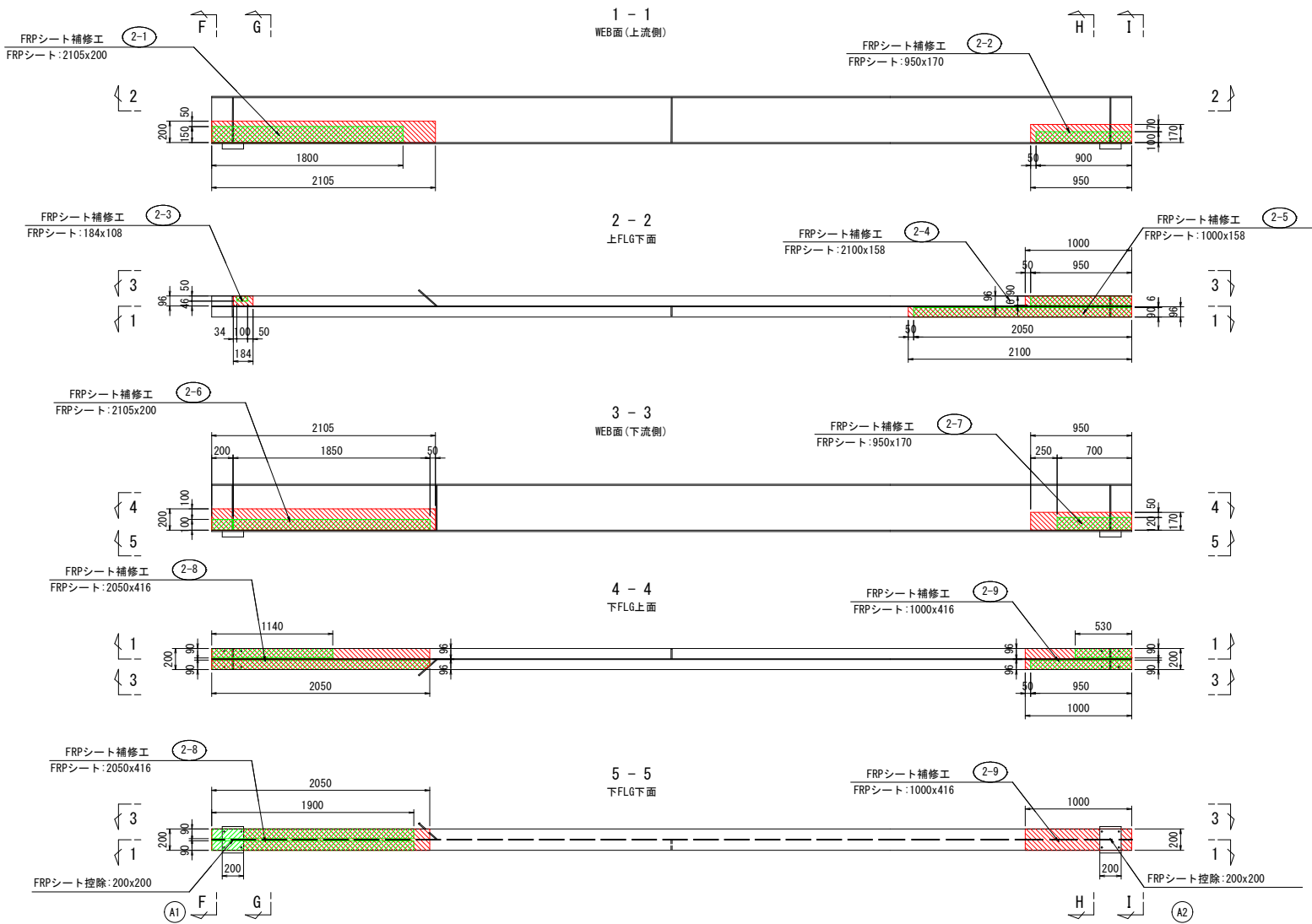
- 注記)
1. 本図面は、既存資料・現地計測をもとに作成した図面である。
 2. 施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認すること。
 3. 各部寸法は製作前に現場計測にて確認すること。
 4. 凹凸の多い箇所については、セラミック金属特殊パテ材を使用し、不陸調整を行うこと。
 5. 著しい損傷がみられた場合は、別途発注者と協議すること。

路線名	荒金3号線
町道荒金3号線（無名橋99）橋梁補修工事	
図名	無名橋99 FRPシート補修工図(その1)
位置	岩美郡岩美町大字 荒金 地内
縮尺	図示 単位 mm
図号	全 14 葉中の内 4
岩美町役場 建設水道課	
令和7年度施工	

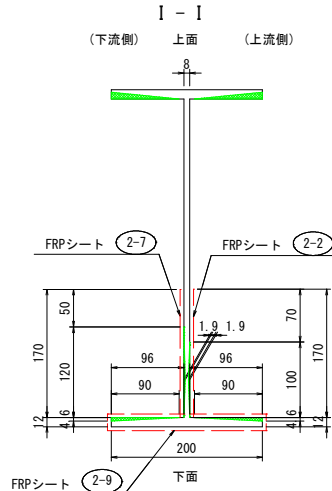
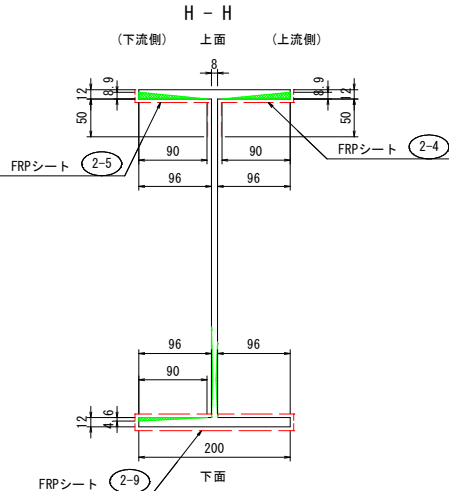
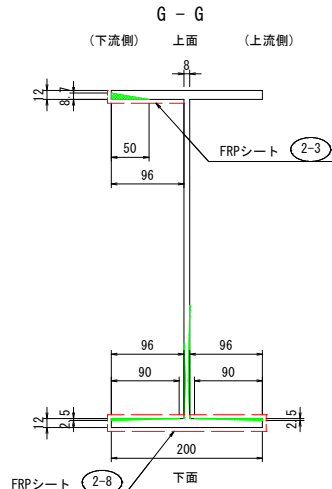
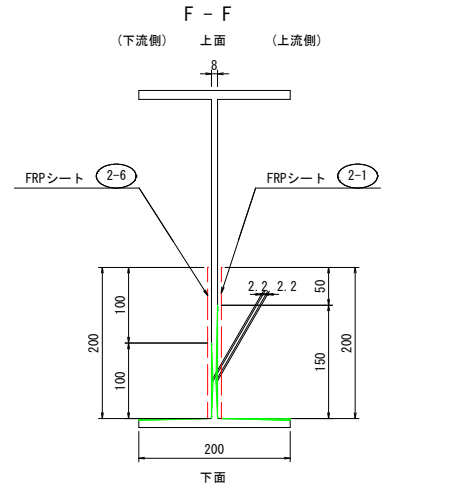
※A3図面は50%縮尺

無名橋99 FRPシート補修工図(その2)

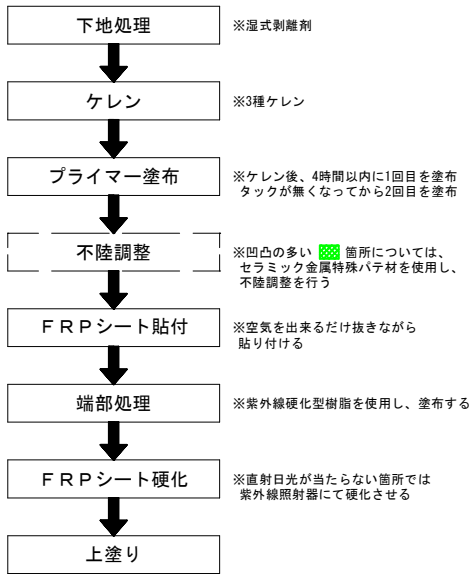
主桁G2



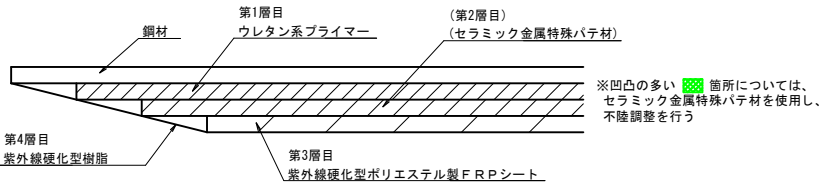
断面図 S=1:5



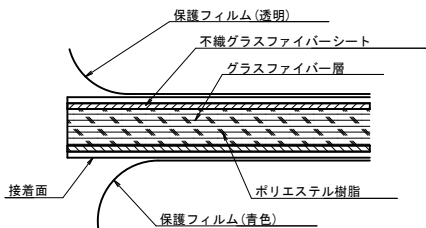
FRPシートエフロー図



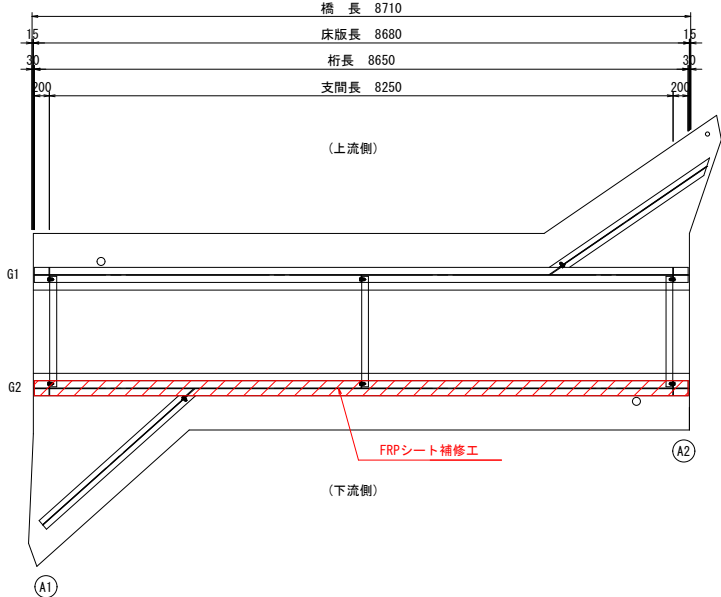
桁端部詳細図



FRPシート詳細図



配置図



- 注記)
1. 本図面は、既存資料・現地計測をもとに作成した図面である。
 2. 施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認する事。
 3. 各部寸法は製作前に現場計測にて確認こと。
 4. 凹凸の多い箇所については、セラミック金属特殊パテ材を使用し、不陸調整を行うこと。
 5. 著しい損傷がみられた場合は、別途発注者と協議すること。

路線名	荒金3号線
町道荒金3号線（無名橋99）橋梁補修工事	
図名	無名橋99 FRPシート補修工図(その2)
位置	岩美郡岩美町大字 荒金 地内
縮尺	図示 単位 mm
図号	全 14 葉中の内 5
岩美町役場 建設水道課	
令和7年度施工	

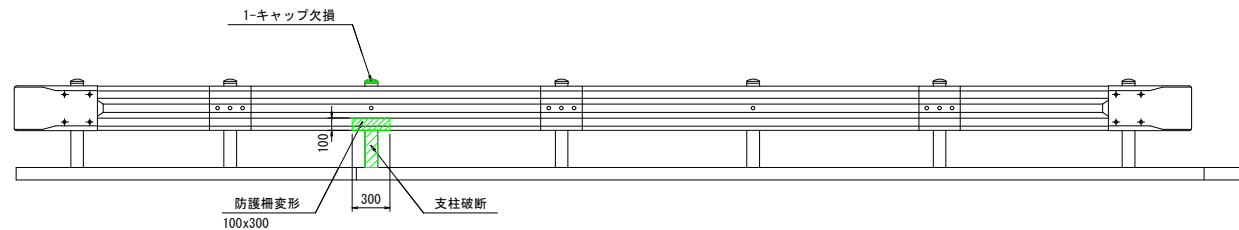
※A3図面は50%縮尺

無名橋99 FRPシート補修工図(その3)

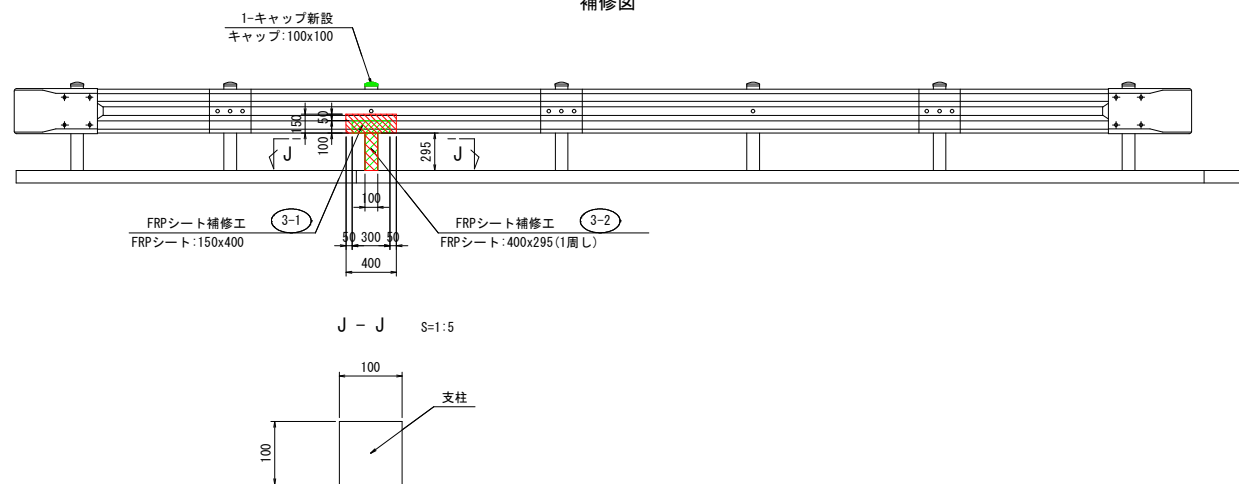
防護柵

側面図 S=1:30

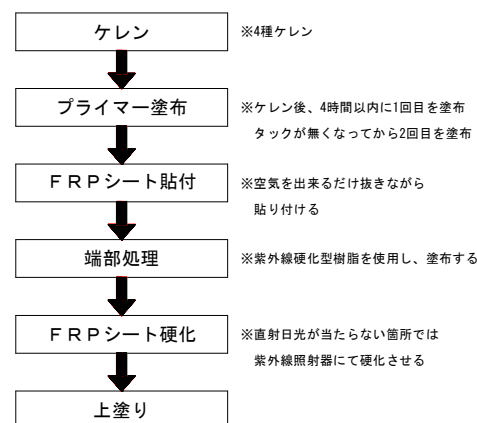
現況図



補修図

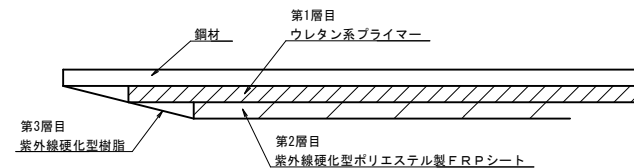


FRPシートエフロー図

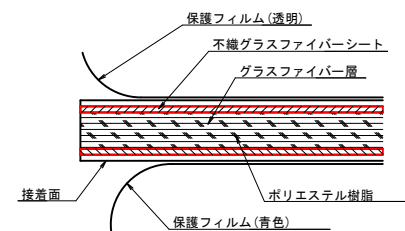


※紫外線硬化型ポリエステル樹脂製FRPシートは
NETIS NO.08-990022-V(設計比較対象技術) 同等品以上とする。

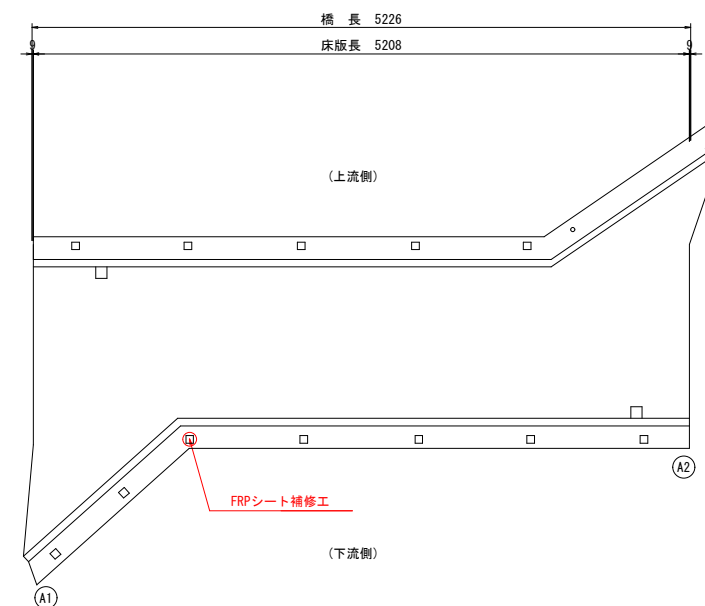
防護柵補修工詳細図



FRPシート詳細図



配置図



- 注記)
1. 本図面は、既存資料・現地計測をもとに作成した図面である。
 2. 施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認する事。
 3. 各部寸法は製作前に現場計測にて確認こと。
 4. 著しい損傷がみられた場合は、別途発注者と協議すること。

路線名	荒金3号線		
町道荒金3号線（無名橋99）橋梁補修工事			
図名	無名橋99 FRPシート補修工図(その3)		
位置	岩美郡岩美町大字 荒金 地内		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 14 葉中の内 6		
岩美町役場 建設水道課			
令和7年度施工			

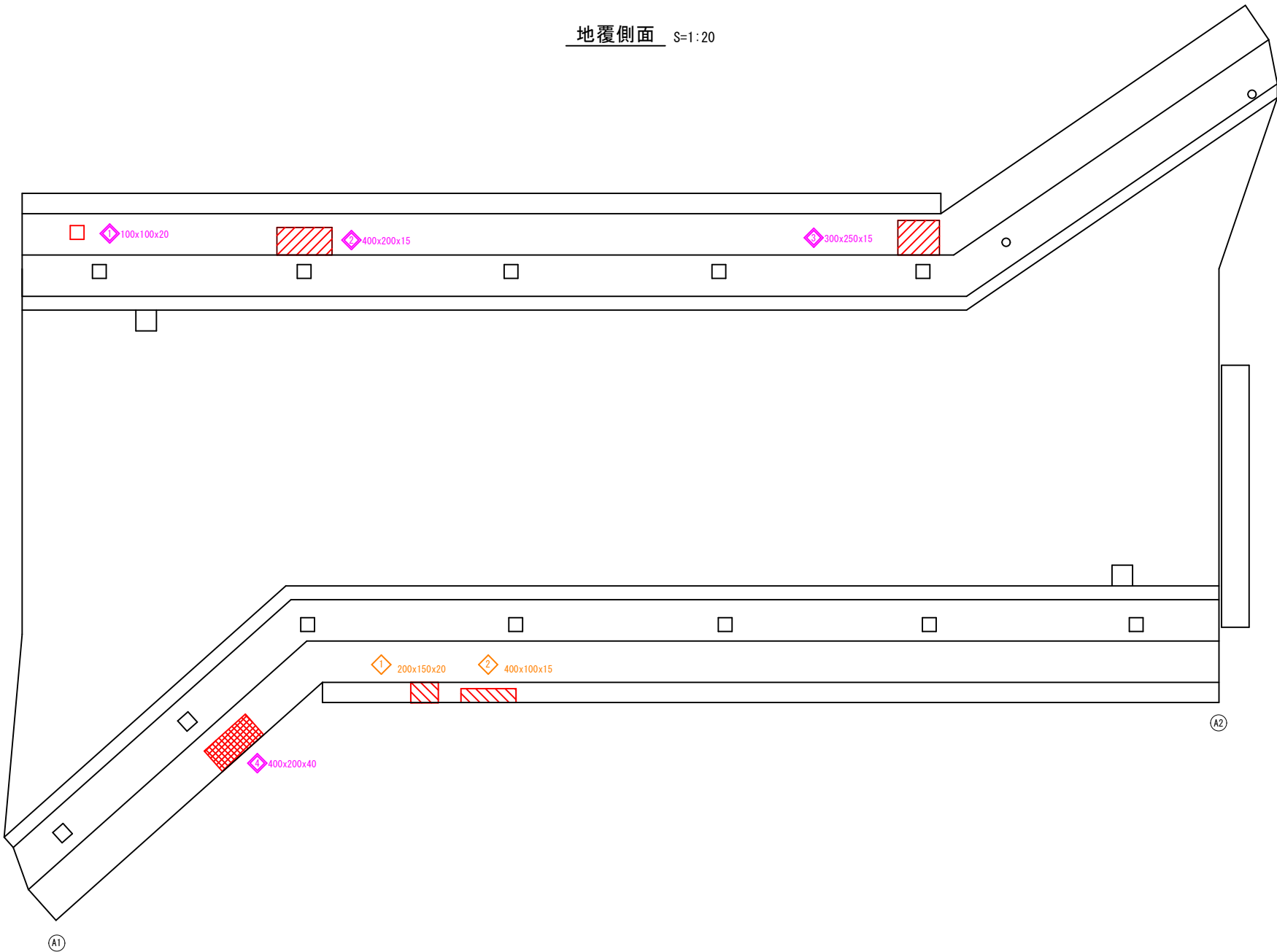
※A3図面は50%縮尺

無名橋99 断面修復工図(その1)

地覆側面 S=1:20

(上流側)

(下流側)



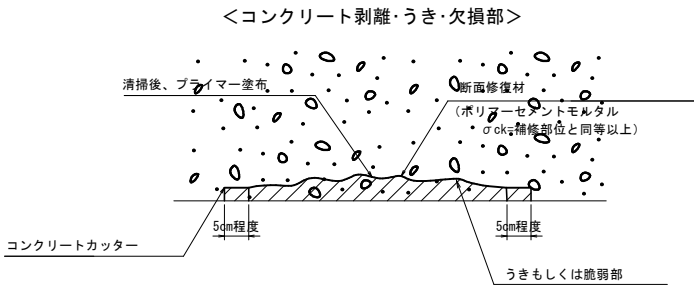
断面修復工
鉄筋露出部数量表

番号	幅 (m)	長さ (m)	深さ (m)	箇所	面積 (m2)	体積 (m3)	カッター延長 (m)	備考
1	0.200	0.150	0.020	1	0.075	0.0015	1.100	
2	0.400	0.100	0.015	1	0.100	0.0015	1.400	
集計				2	0.175	0.0030	2.500	

断面修復工
剥離・うき・欠損部数量表

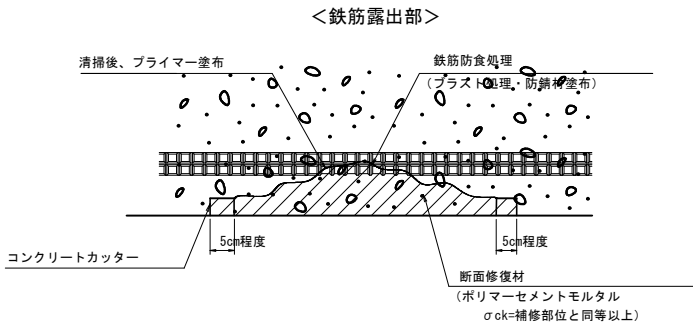
番号	幅 (m)	長さ (m)	深さ (m)	箇所	面積 (m2)	体積 (m3)	カッター延長 (m)	備考
1	0.100	0.100	0.020	1	0.040	0.0008	0.800	
2	0.400	0.200	0.015	1	0.150	0.0023	1.600	
3	0.300	0.250	0.015	1	0.140	0.0021	1.500	
4	0.400	0.200	0.040	1	0.150	0.0060	1.600	
集計				4	0.480	0.0112	5.500	

断面修復工詳細図



注記)

- ・ 施工前に損傷範囲をテストハンマーで再確認し、施工範囲を設定すること。
- ・ 断面修復材との付着をよくするために素地調整(接着剤等)を施すこと。
- ・ 断面修復の付着性能をよくするためにエッジにはコンクリートカッターにより1cm程度の鉛直部を設けること。
- ・ 断面修復部に鉄筋露出や鉄筋が腐食している場合は、錆等の付着物を取り除いた後、鉄筋防錆材を塗布し断面修復を行うこと。
- ・ 断面修復の鉄筋が腐食により大きく断面欠損している場合は、補助鉄筋を設けること。
- ・ 断面修復面は、コテ仕上げにより平滑にすること。



注記)

1. 本図面は、既存資料・現地計測をもとに作成した図面である。
2. 施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認する事。
3. 著しい損傷がみられた場合は、別途発注者と協議すること。

路線名	荒金3号線		
町道荒金3号線（無名橋99）橋梁補修工事			
図 名	無名橋99 断面修復工図(その1)		
位 置	岩美郡岩美町大字 荒金 地内		
縮 尺	図示	単 位	mm
図 号	全 14 葉中の内 7		
岩美町役場 建設水道課			
令和7年度施工			

※A3図面は50%縮尺

無名橋99 断面修復工図(その2)

床版下面 S=1:20

(上流側)

(下流側)

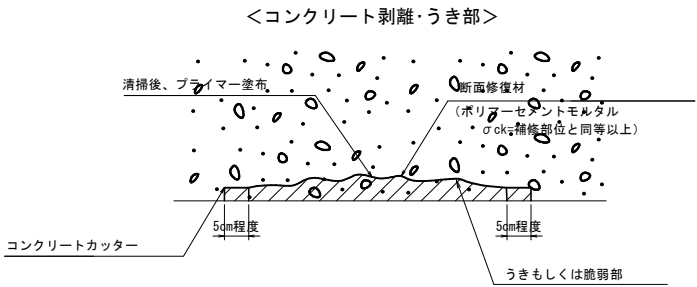
断面修復工
鉄筋露出部数量表

番号	幅(m)	長さ(m)	深さ(m)	箇所	面積(m2)	体積(m3)	カッター延長(m)	備考
①	0.100	0.100	0.015	1	0.040	0.0006	0.800	
②	0.130	0.200	0.010	1	0.069	0.0007	1.060	
③	0.100	0.100	0.015	1	0.040	0.0006	0.800	
④	0.060	0.020	0.005	1	0.019	0.0001	0.560	
⑤	0.500	0.200	0.010	1	0.180	0.0018	1.800	
⑥	0.200	0.300	0.010	1	0.120	0.0012	1.400	
⑦	0.100	0.100	0.020	1	0.040	0.0008	0.800	
⑧	0.100	0.100	0.010	1	0.040	0.0004	0.800	
集計				8	0.548	0.0062	8.020	

断面修復工
剥離・うき部数量表

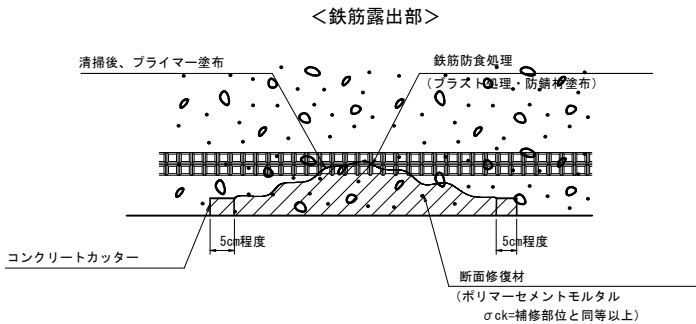
番号	幅(m)	長さ(m)	深さ(m)	箇所	面積(m2)	体積(m3)	カッター延長(m)	備考
①	0.200	0.300	0.015	1	0.120	0.0018	1.400	
②	0.150	0.150	0.015	1	0.063	0.0009	1.000	
集計				2	0.183	0.0027	2.400	

断面修復工詳細図



注記)

- ・ 施工前に損傷範囲をテストハンマーで再確認し、施工範囲を設定すること。
- ・ 断面修復材との付着をよくするために素地調整（接着剤等）を施すこと。
- ・ 断面修復の付着性能をよくするためにエッジにはコンクリートカッターにより1cm程度の鉛直部を設けること。
- ・ 断面修復部に鉄筋露出や鉄筋が腐食している場合は、錆等の付着物を取り除いた後、鉄筋防錆材を塗布し断面修復を行うこと。
- ・ 断面修復の鉄筋が腐食により大きく断面欠損している場合は、補助鉄筋を設けること。
- ・ 断面修復面は、コテ仕上げにより平滑にすること。



注記)

1. 本図面は、既存資料・現地計測をもとに作成した図面である。
2. 施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認する事。
3. 著しい損傷がみられた場合は、別途発注者と協議すること。

路線名	荒金3号線		
町道荒金3号線（無名橋99）橋梁補修工事			
図 名	無名橋99 断面修復工図(その2)		
位 置	岩美郡岩美町大字 荒金 地内		
縮 尺	図示	単 位	mm
図 号	全 14 葉中の内 8		
岩美町役場 建設水道課			
令和7年度施工			

※A3図面は50%縮尺

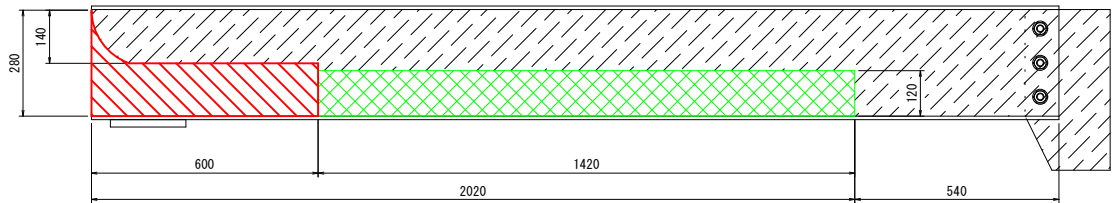
無名橋99 部材取替工図(その1)

下流側桁

既設図

S=1:10

正面図

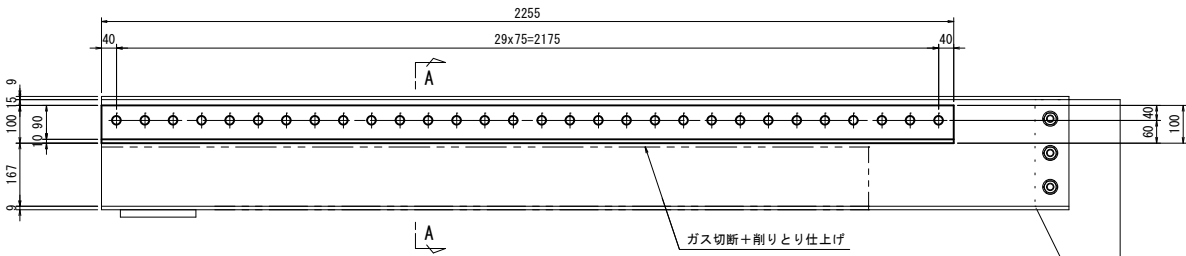


- 孔食
板厚減少
防食機能の劣化

設置・切断図

S=1:10

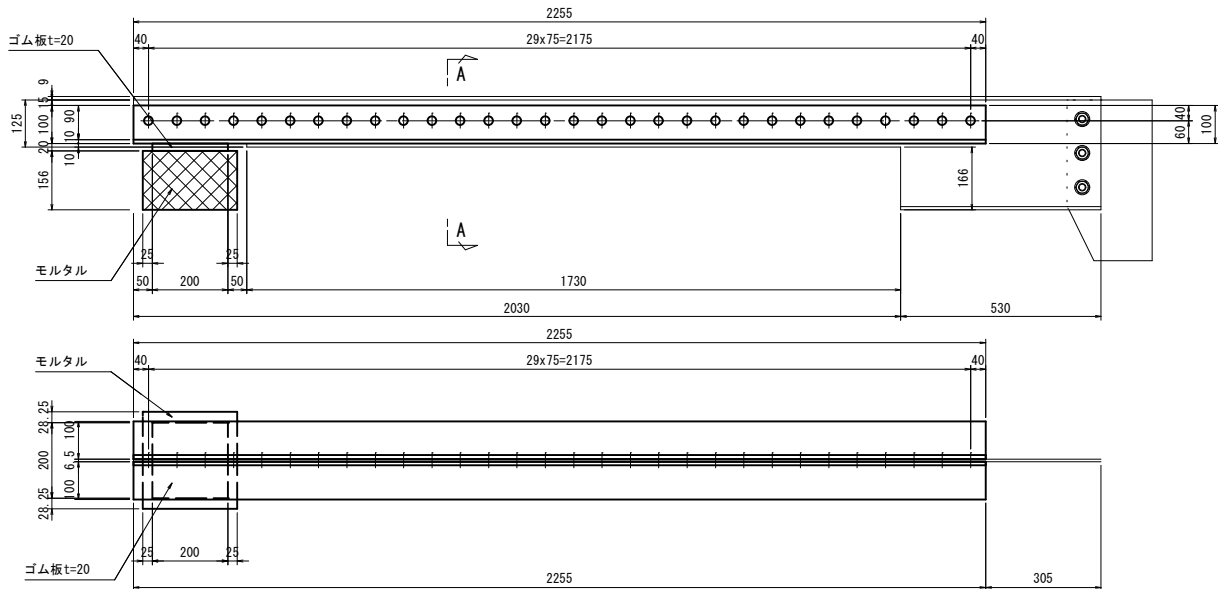
正面図



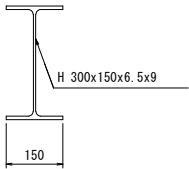
設置・切断 完了後図

S=1:10

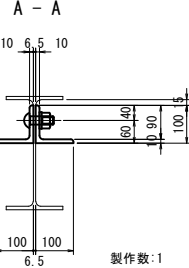
正面図



断面図

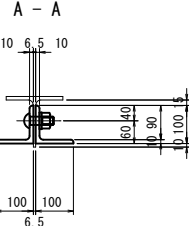


断面図



- 製作数:1
2-L 100x100x10x2255 (SS400)
30-TCB M22x65 (S10T)

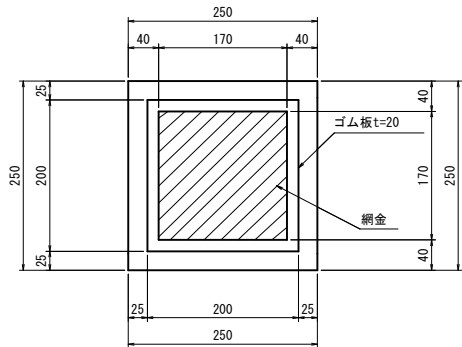
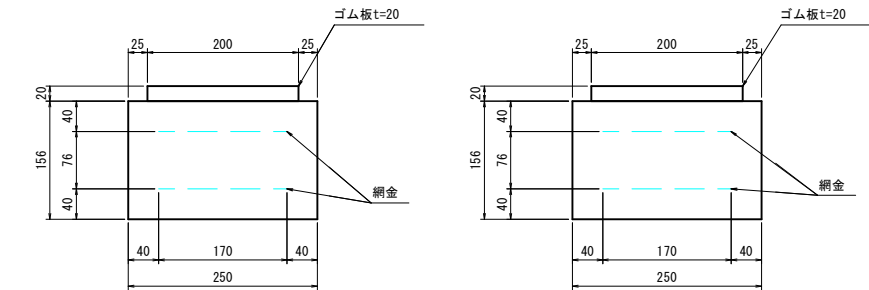
断面図



- 製作数:1
1-ゴム 200x20x200
撤去数:1
1-H 300x150x6.5x9x2030 (SS400)
ガス切断+削りとり仕上げ長 L=0.17+2.03=2.200m

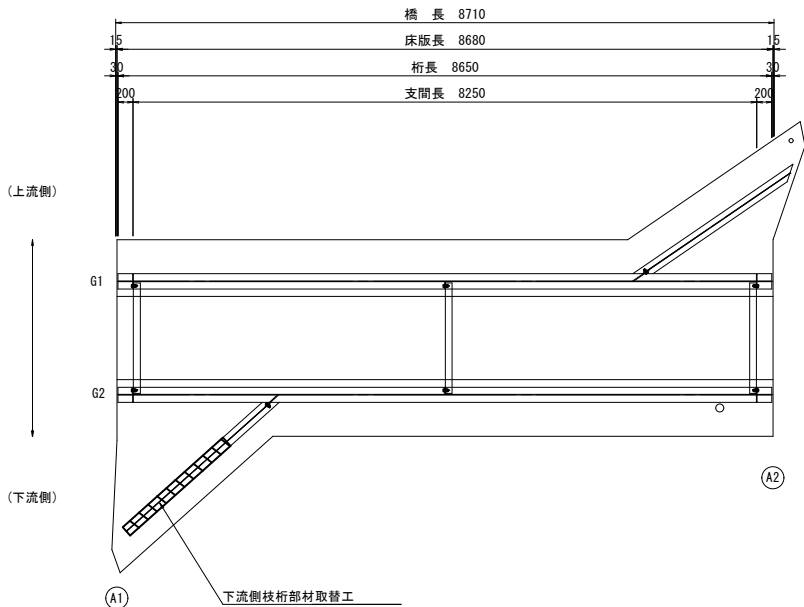
支承部詳細図

S=1:5

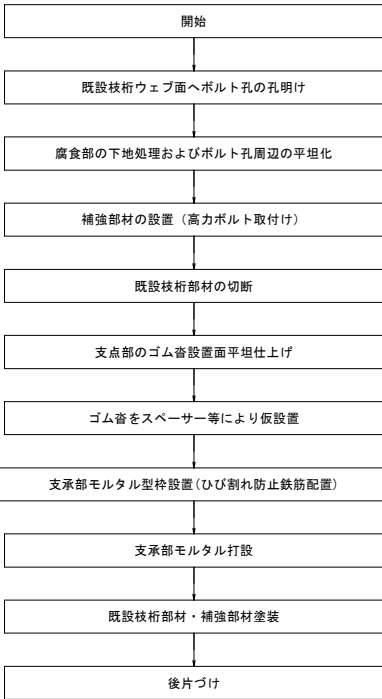


- 網金 製作数:2
A=0.17x0.17=0.03m2

配置図



部材取替補修工フロー



数量表

項 目			単位	合計
撤去重量			kg	38.7
当て板補修重量			kg	82.4
現場孔明工	φ26.5孔	t=6.5 水平向	個	30
高力ボルト本締工	TCB M22x65 (S10T)		本	30
ガス切断+削りとり仕上げ長			m	2.200
ゴム	200x20x200		個	1
モルタル	無収縮モルタル		m3	0.010

- 注記)
- 特記なき材質は、SM400Aを示す。
 - 施工の際は、現地再測を行い図面と照合のこと。
 - 支点部は、ゴム板+100mm程度平滑に仕上げによでゴム板を設置すること。
 - 印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T) を示す。
 - 部材取替時は、桁支点側に支保工等を設け床版を支持すること。

路線名	荒金3号線		
町道荒金3号線（無名橋99）橋梁補修工事			
図 名	無名橋99 部材取替工図(その1)		
位 置	岩美郡岩美町大字 荒金 地内		
縮 尺	図示	単 位	mm
図 号	全 14 葉中の内 9		
岩美町役場 建設水道課			
令和7年度施工			

※A3図面は50%縮尺

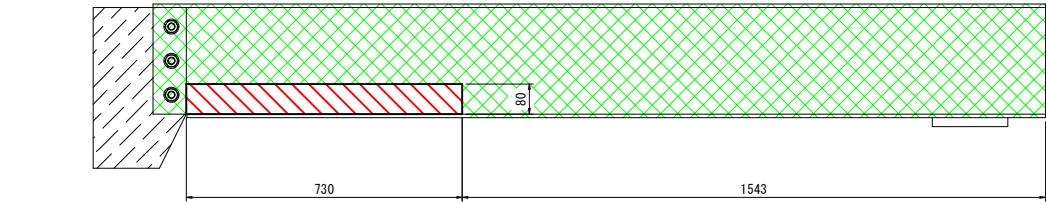
無名橋99 部材取替工図(その2)

上流側枝桁

既設図

S=1:10

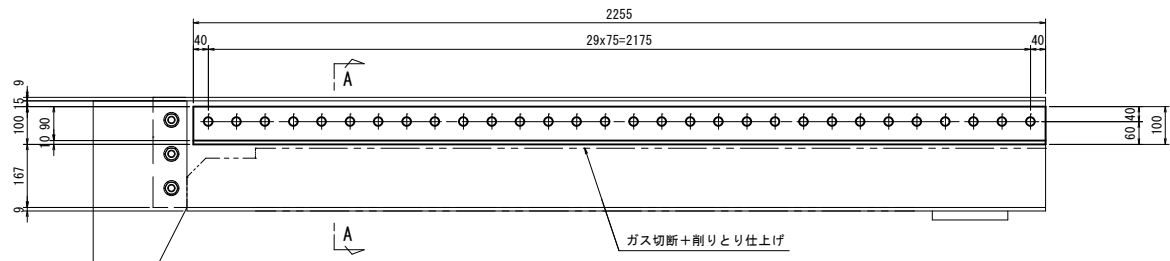
正面図



部材設置後図

S=1:10

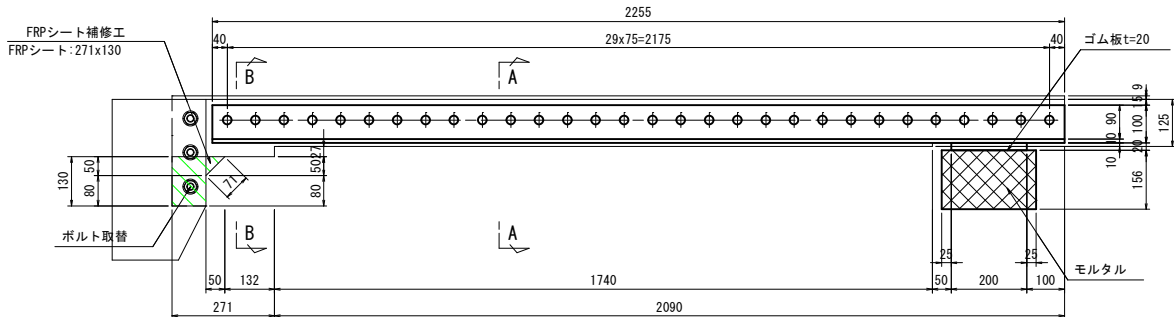
正面図



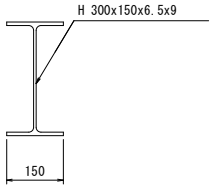
正面図

部材切断後図

S=1:10

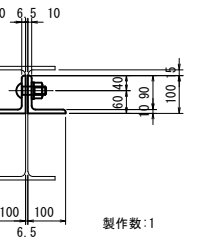


断面図



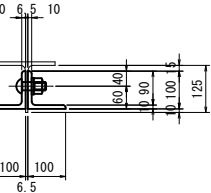
断面図

A - A



断面図

A - A



製作数:1

1-HTB M20x55 (F10T)

1-ゴム 200x20x200

撤去数:1

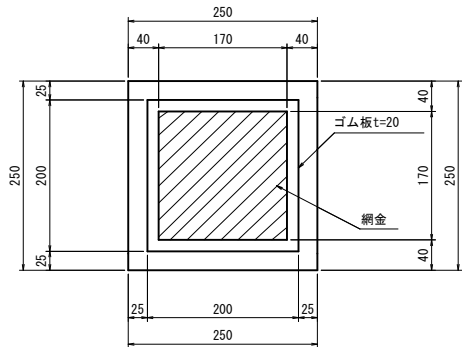
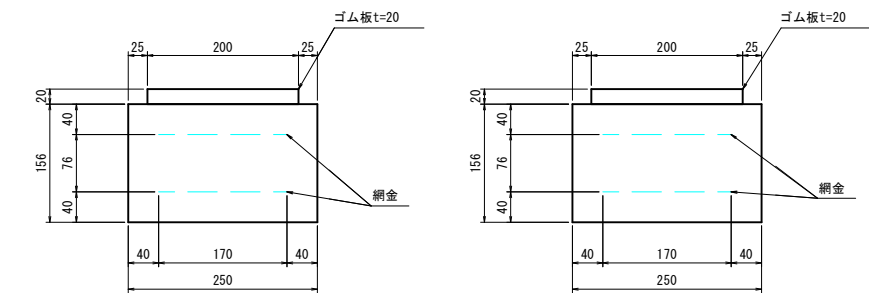
1-H 300x150x6.5x9x2090 (SS400)

1-HTB M20x55 (F10T)

ガス切断+削りとり仕上げ長 L=2.09+0.03+0.13+0.07+0.08=2.400m

支承部詳細図

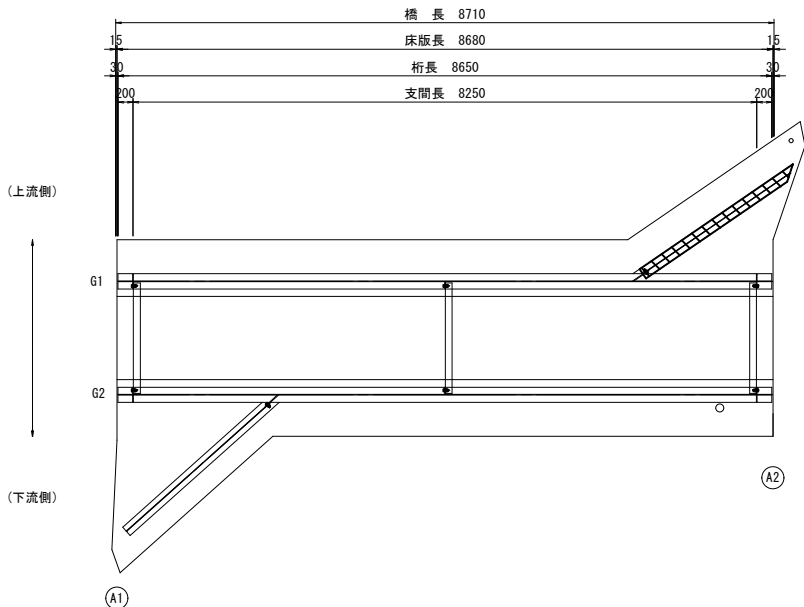
S=1:5



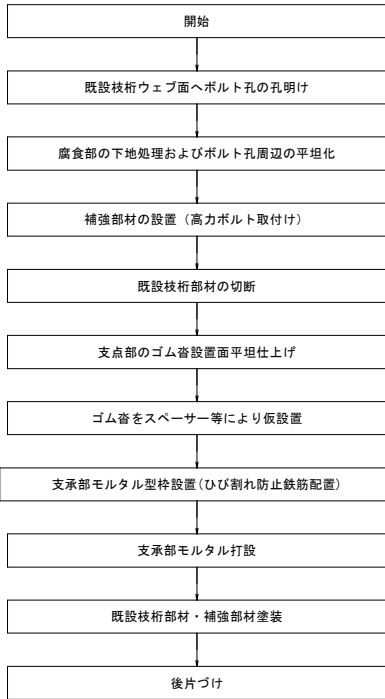
網金 製作数:2

A=0.17x0.17=0.03m2

配置図



部材取替補修工フロー



数量表

項 目			単位	合計
撤去重量			kg	40.3
当て板補修重量			kg	82.8
現場孔明工	φ26.5孔	t=6.5 水平向	個	30
高力ボルト本締工	TCB M22x65 (S10T)		本	30
	HTB M20x55 (F10T)		本	1
ガス切断+削りとり仕上げ長			m	2.400
ゴム	200x20x200		個	1
モルタル			m3	0.010
金属パテ			m3	0.001
FRPシート			m2	0.13

注記)

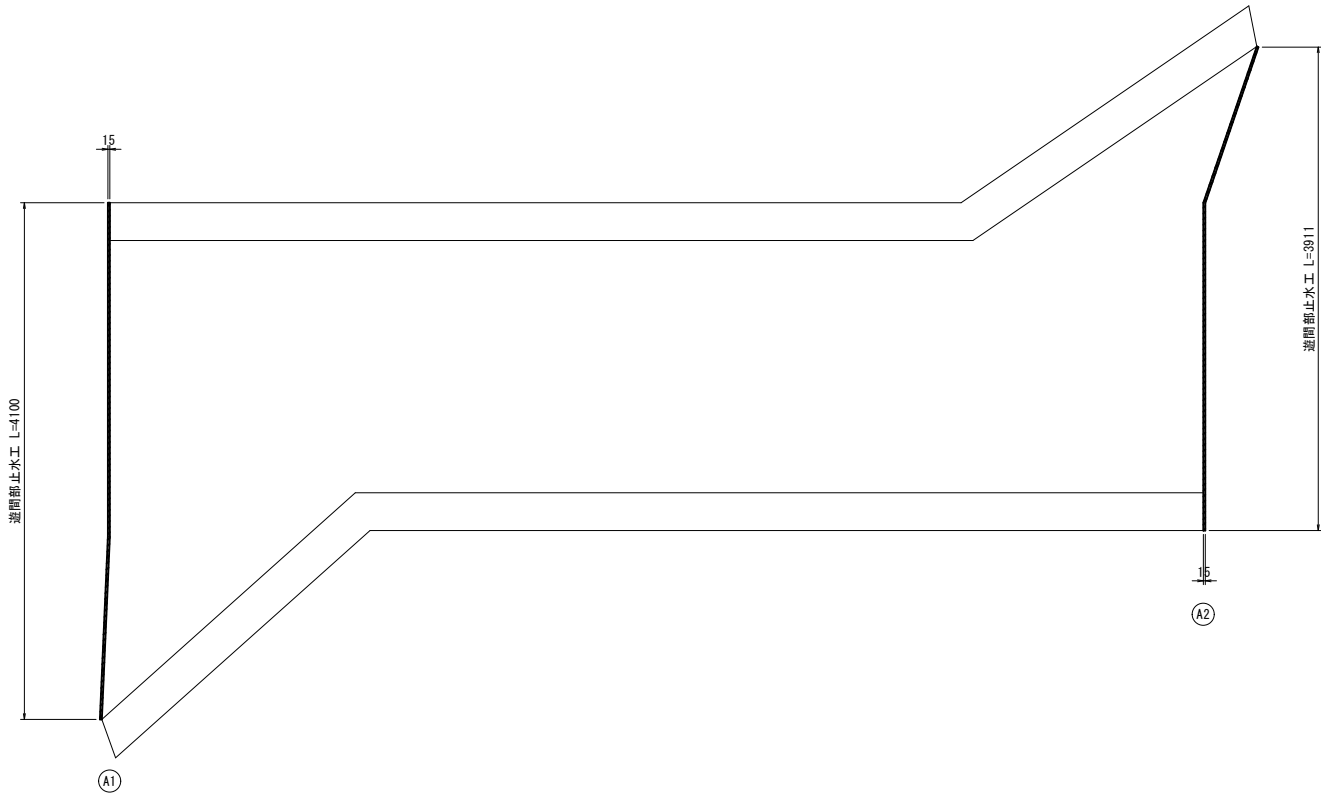
- 特記なき材質は、SM400Aを示す。
- 施工の際は、現地再測を行い図面と照合のこと。
- 支点部は、ゴム板+100mm程度平滑に仕上げに 의해 ゴム板を設置すること。
- ⊕印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
- 部材取替時は、枝桁支点側に支保工等を設け床版を支持すること。
- 凹凸の多い 箇所については、セラミック金属特殊パテ材を使用し、不陸調整を行うこと。

路線名	荒金3号線		
町道荒金3号線（無名橋99）橋梁補修工事			
図 名	無名橋99 部材取替工図(その2)		
位 置	岩美郡岩美町大字 荒金 地内		
縮 尺	図示	単 位	mm
図 号	全 14 葉中の内 10		
岩美町役場 建設水道課			
令和7年度施工			

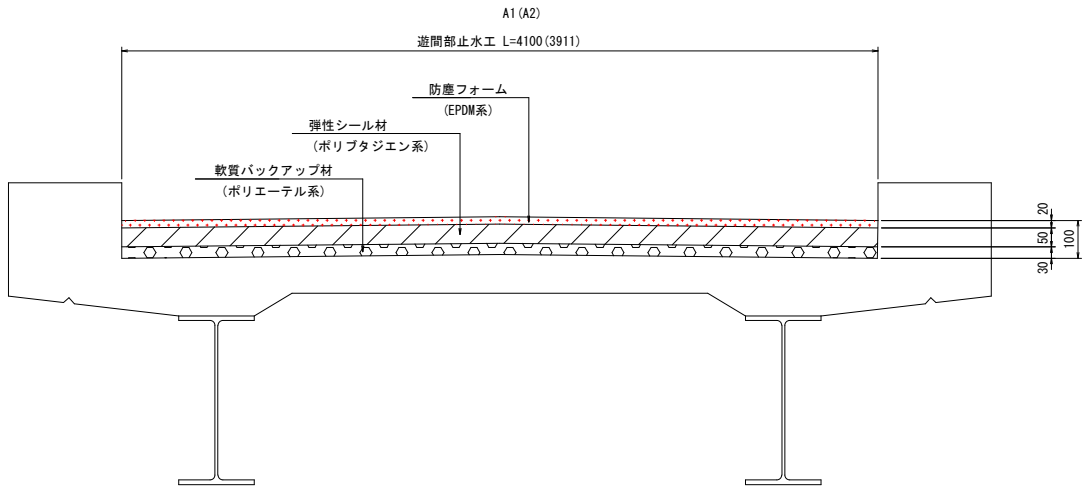
※A3図面は50%縮尺

無名橋99 伸縮目地止水シール工図

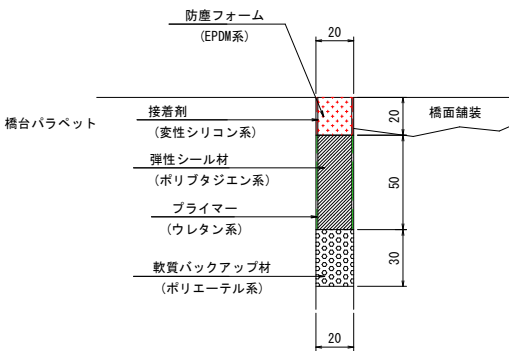
平面図 S=1:30



断面図 S=1:10



詳細図 S=1:2



ポリブタジエン系弾性シール材品質規格

項 目	単 位	規 格	試験方法
硬度	度	10±5	JIS K 7312
破断時の伸び	%	350以上	JIS K 5758
最大引張応力	kN/m2	80以上	JIS K 5758
50%圧縮応力	%	100±50	JIS K 6767
硬化時間	日	3以内	硬化安定化までの日数
スランプ	mm	3以下	JIS K 1439

- 注記)
- 本図面は、既存資料・現地計測をもとに作成した図面である。
 - 施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認する事。
 - 著しい損傷がみられた場合は、別途発注者と協議すること。

路線名	荒金3号線		
町道荒金3号線（無名橋99）橋梁補修工事			
図 名	無名橋99 伸縮目地止水ｼｰﾙ工図		
位 置	岩美郡岩美町大字 荒金 地内		
縮 尺	図示	単 位	mm
図 号	全 14 葉中の内 11		
岩美町役場 建設水道課			
令和7年度施工			

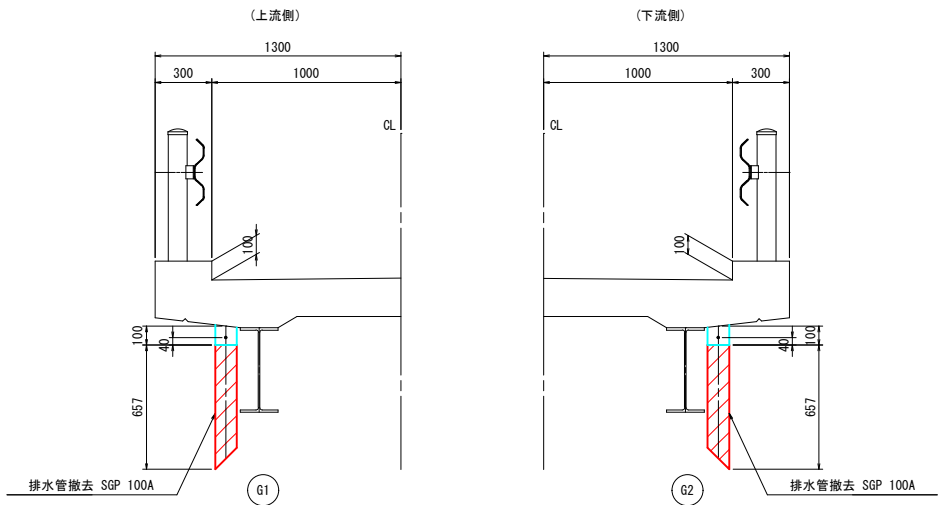
※A3図面は50%縮尺

無名橋99 排水管補修工図

断面図

S=1:20

排水管撤去

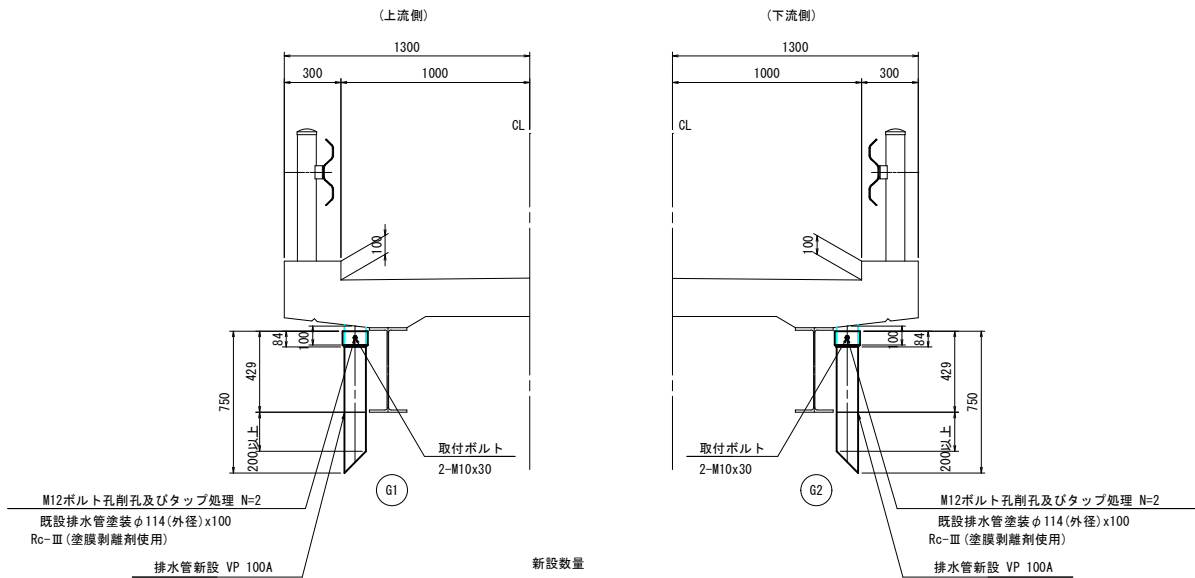


撤去数量
2-SGP 100Ax657

断面図

S=1:20

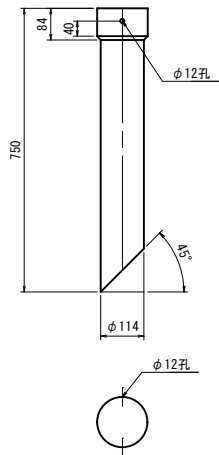
排水管新設



新設数量
2-VP 100Ax750 (スリーブ付)
4-取付ボルト M10x30

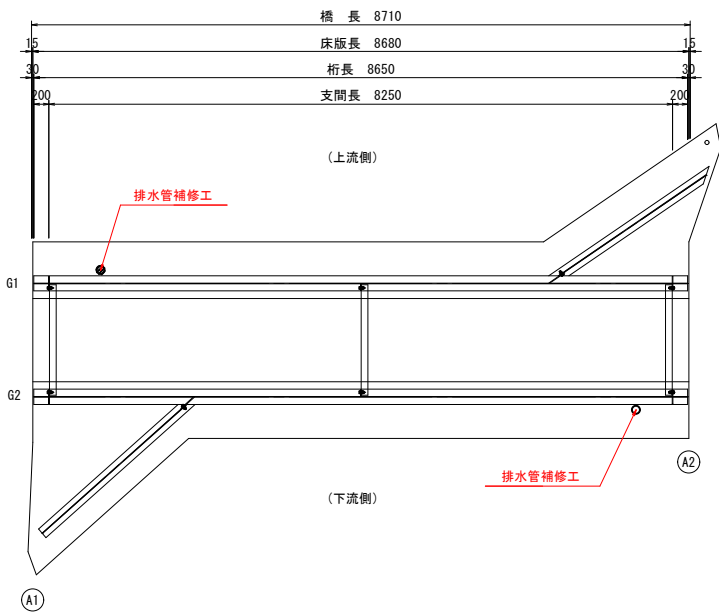
直管詳細

S=1:10



1-VP 100Ax750 (スリーブ付)
※ 既設排水管はさび止めを行い、接着剤で新設排水管を固定すること。

配置図



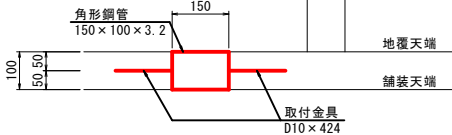
- 注記)
- 特記なき材質は、SS400を示す。
 - Uボルト付き以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
 - 形状は既存資料および測量結果に基づく。
 - 施工前には必ず現状寸法を再測し、施工寸法を確認すること。
 - 既設排水管はさび止めを行い、接着剤で新設排水管を固定すること

路線名	荒金3号線		
町道荒金3号線（無名橋99）橋梁補修工事			
図 名	無名橋99 排水管補修工図		
位 置	岩美郡岩美町大字 荒金 地内		
縮 尺	図示	単 位	mm
図 号	全 14 葉中の内 12		
岩美町役場 建設水道課			
令和7年度施工			

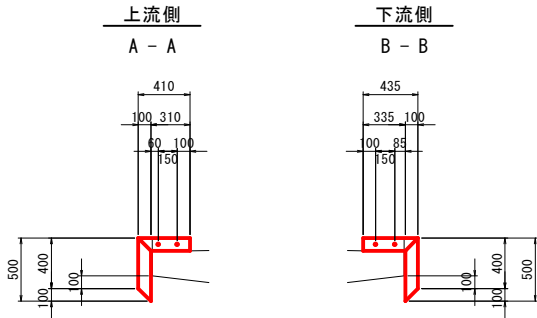
※A3図面は50%縮尺

無名橋99 排水管設置工図

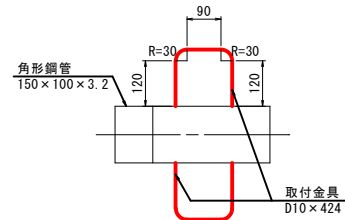
側 面 図 S=1:10



断面图 S=1:30



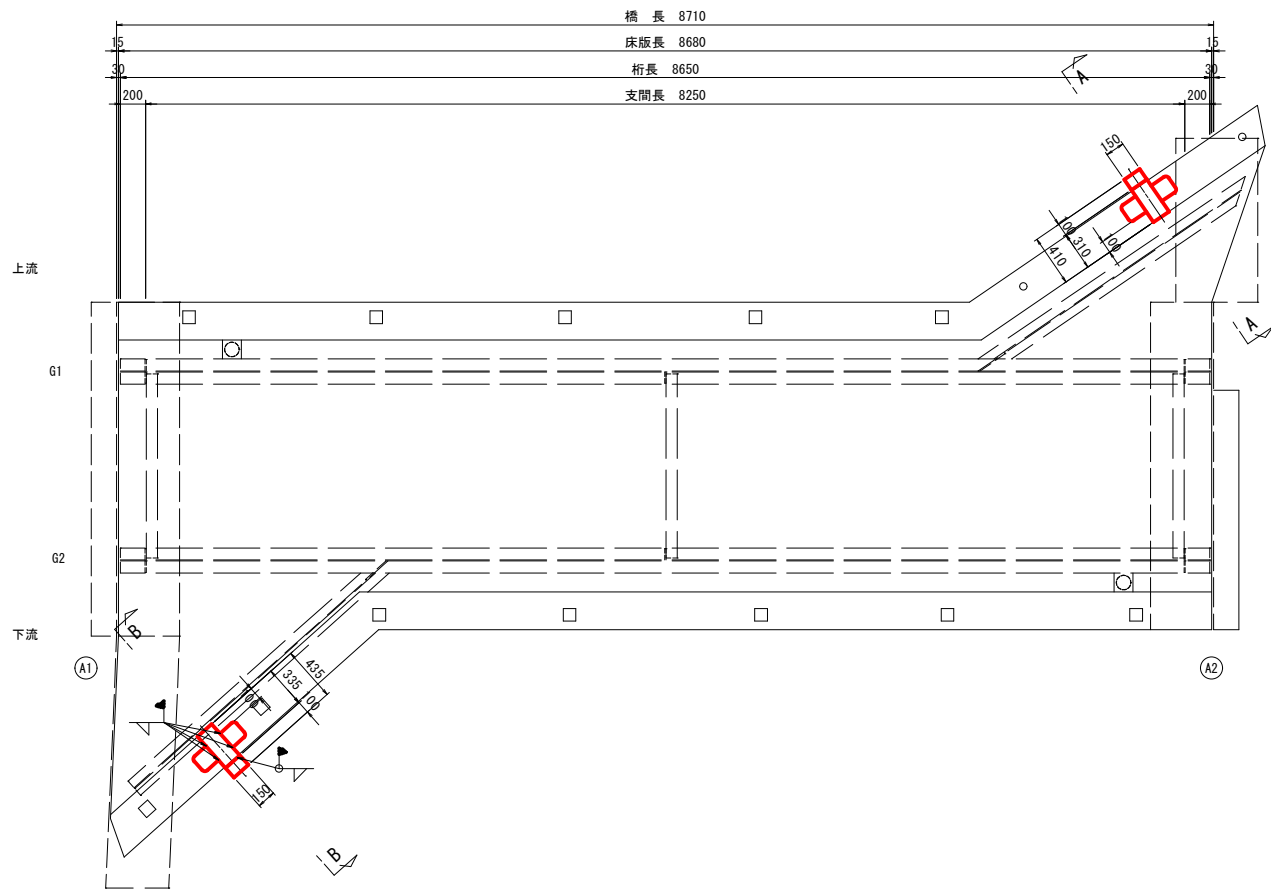
取付金具配筋図 S=1:5



鉄筋質量表

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
1	D10	424	4	0.56	0.237	0.9	□
合 計						0.9	
D10					0.9 kg		

配置図 S=1:30



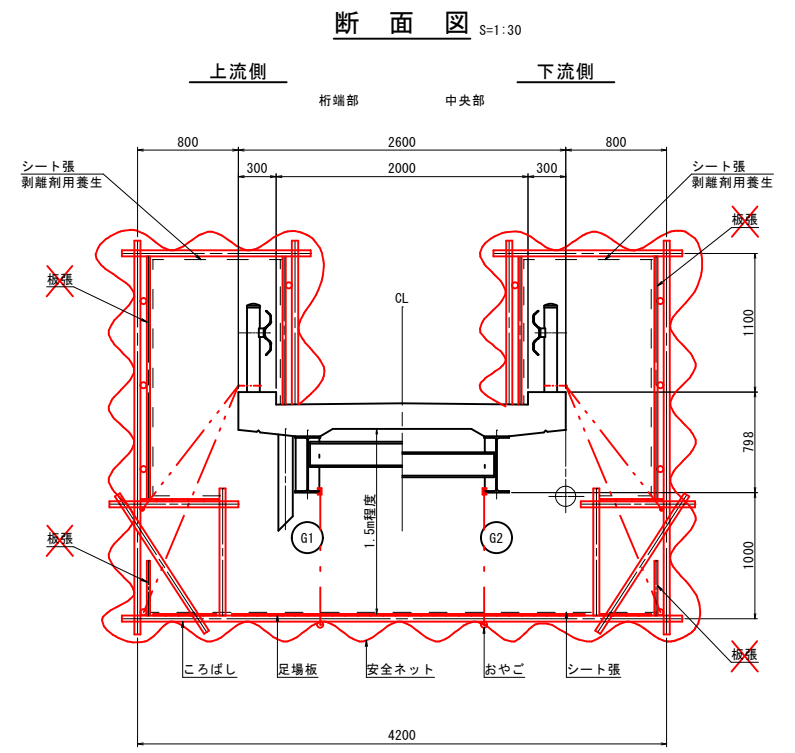
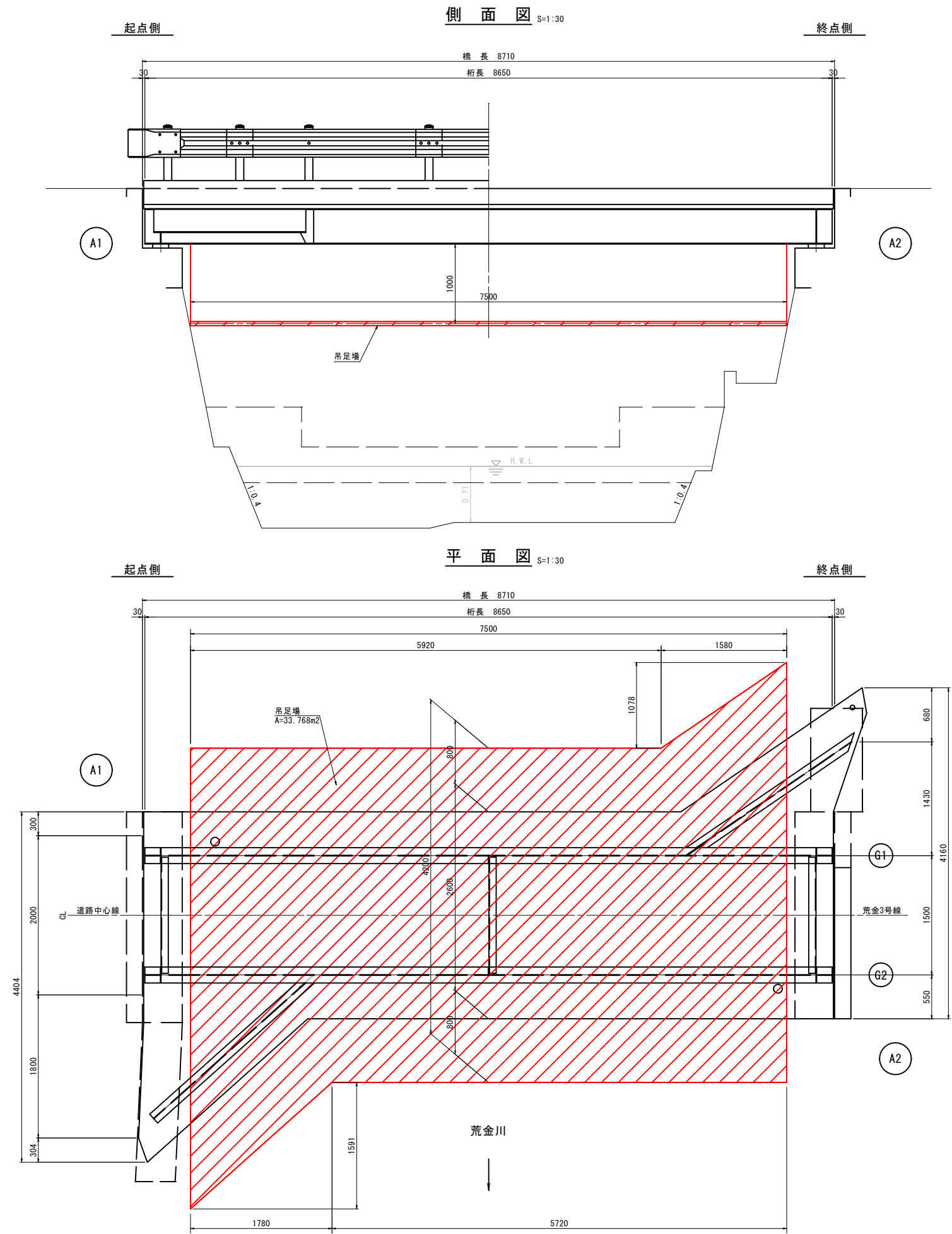
注記)

1. 本図面は、既存資料・現地計測をもとに作成した図面である。
2. 施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認する事。

路線名	荒金3号線		
町道荒金3号線（無名橋99）橋梁補修工事			
図 名	無名橋99 排水管設置工		
位 置	岩美郡岩美町大字 荒金 地内		
縮 尺	図示	単 位	mm
図 号	全 14 葉中の内 13		
岩美町役場 建設水道課			
令和7年度施工			

※A3図面は50%縮尺

無名橋99 足場工参考図



注記)

1. 本図面は、既存資料・現地計測をもとに作成した図面である。

2. 施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認する事。

路線名	荒金3号線		
町道荒金3号線（無名橋99）橋梁補修工事			
図 名	無名橋99 足場工参考図		
位 置	岩美郡岩美町大字 荒金 地内		
縮 尺	図示	単 位	mm
図 号	全 14 葉中の内 14		
岩美町役場 建設水道課			
令和7年度施工			

※A3図面は50%縮尺